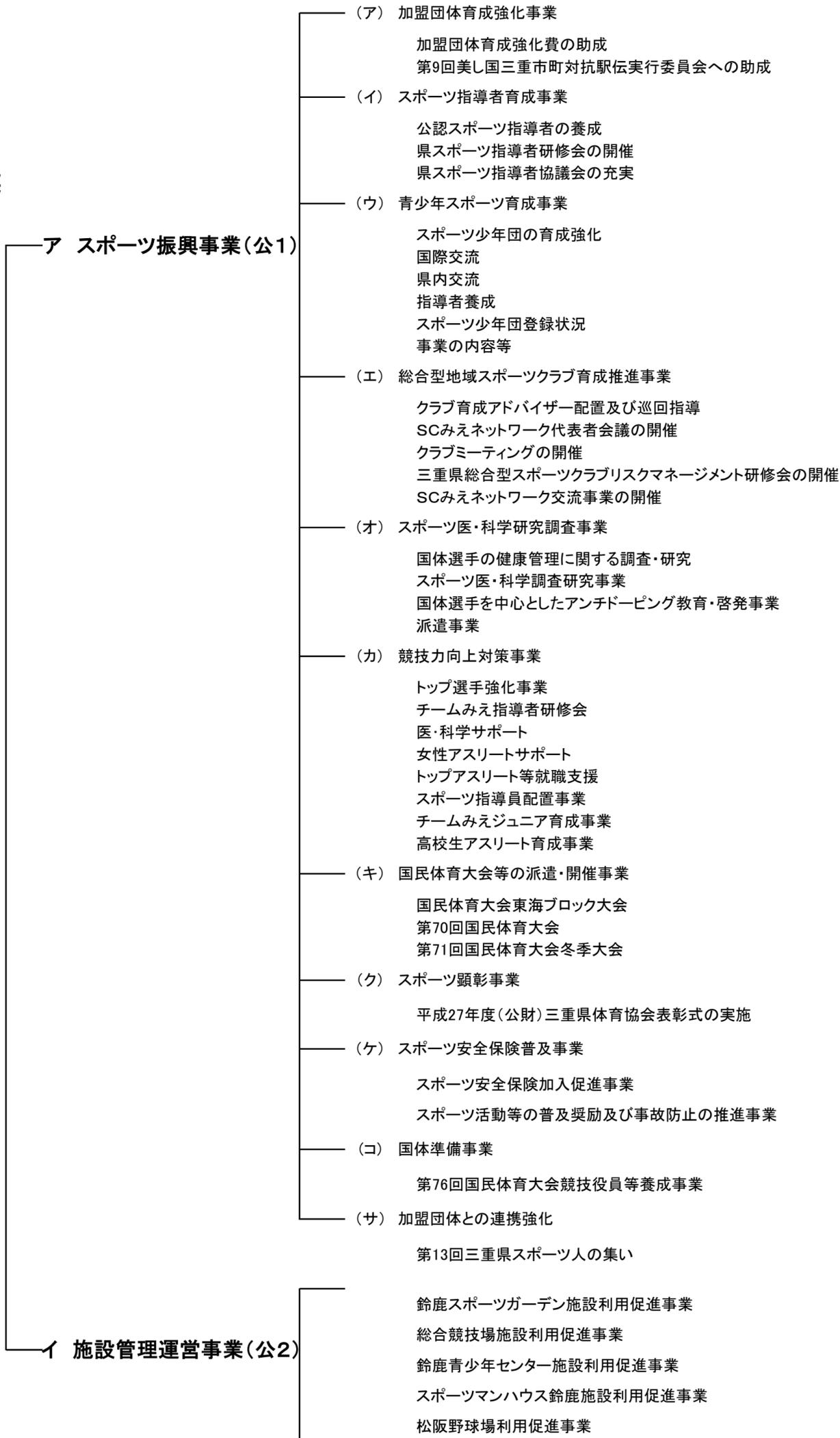


公益財団法人 三重県体育協会事業体系図

1 事業

(1) 公益目的事業



(2) 収益事業

- ア スポーツ施設等の利便性を向上させる事業(収1)
 - (ア) 自動販売機設置事業等
- イ スポーツ振興事業を実施するための財源を確保する事業(収2)
 - (イ) 広告事業
- ウ スポーツ振興事業を実施するための財源を確保する事業(収3)
 - (ウ) 太陽光発電事業

2 法人運営

- (1) 会議の開催
- (2) 財政の充実
- (3) 広報

平成27年度 公益財団法人三重県体育協会事業報告

平成27年度は公益財団法人の広く社会に貢献すべき責務として、県民体力の向上とスポーツ精神の養成を目的とし、三重県、三重県教育委員会及び本協会加盟団体並びに関係団体との連携強化を図りながら、公益実現に向けた事業に取り組むとともに、法人の基盤となる財源の確保に努め次のとおり諸事業を実施した。

1. 事業

(1) 公益目的事業

ア. スポーツ振興事業（公益事業1）

スポーツ団体及びスポーツ指導者の育成事業を展開し、スポーツ愛好者を育てるとともに、青少年の健全な育成や競技水準の向上を図り、県民のスポーツ振興を推進するため以下の事業を行った。

イ. 加盟団体育成強化事業

a. 加盟団体の活動促進

(a) 加盟団体育成強化費の助成

加盟団体、加盟市町体育協会及び加盟学校体育団体が実施する各種スポーツ振興事業の充実を図るため、加盟団体の組織運営や大会等に係る経費に対し育成強化費を助成した。

(b) 第9回美し国三重市町対抗駅伝実行委員会への助成

県内のスポーツ推進を図るため、ジュニア世代の発掘・育成と、スポーツを「する」「みる」「支える」全ての県民の意識高揚を目的とした当駅伝において、本協会が管理運営する県営総合競技場で実施される市町交流事業に対し、独自財源を充て助成を行った。

ロ. スポーツ指導者育成事業

a. 公認スポーツ指導者の養成

(a) 指導員

地域スポーツクラブ等において、スポーツに初めて出会う子どもたちや初心者を対象に、競技別の専門的な知識を活かし、個々人の年齢や性別などの対象に合わせた指導にあたるとともに、スポーツ医・科学の知識を生かし、「スポーツを安全に、正しく、楽しく」指導し、「スポーツの本質的な楽しさ、素晴らしさ」を伝えることができる指導者を養成するために講習会を実施した。

① バレーボール（専門科目）

期 間：平成27年9月5日～平成27年9月27日（5日間・30時間）

会 場：安濃中央総合公園内体育館

参加者：27名

② 空手道（専門科目）

期 間：平成27年10月11日～平成28年1月31日（4日間・30時間）

会 場：鈴鹿市武道館他

参加者：57名

③ バドミントン（専門科目）※独自開催事業

期 間：平成28年1月9日～平成28年1月23日（4日間・32時間）

会 場：三重県立稲生高等学校

参加者：3名

b. 県スポーツ指導者研修会の開催

指導者がスポーツに関する最新の知識・情報を獲得し、国民のスポーツに対するニーズを敏感に捉えて、実際の指導場面に活用できるようその資質を向上させるとともに、指導者の情報交換やネットワークづくりなど、相互の交流を目的として研修会を実施した。

(a)期 日：平成27年6月28日(日)

会 場：鈴鹿地域職業訓練センター 講堂

参加者：146名

内 容：講演Ⅰ「スポーツ競技選手が競技力向上をするためのベーストレーニング」

講師 白木 仁 氏 (筑波大学体育系教授)

講演Ⅱ部「負けて得るものはない」

講師 金山 敦思 氏 (四日市商業高等学校教諭)

(b)期 日：平成28年2月14日(日)

会 場：芸濃総合文化センター大研修室・アリーナ

参加者：120名

内 容：講演Ⅰ部「未来のスポーツを考える ～スポーツが人を幸せにする～」

講師 市野 聖治 氏 (鈴鹿大学学長)

講演Ⅱ部「現場でできる膝関節障害のリハビリテーション」 (実技)

講師 打田 健人 氏 (名古屋第一赤十字病院理学療法士)

c. 県スポーツ指導者協議会の充実

本県スポーツ指導者の資質向上と相互連携を促進するため、県内各地域においてスポーツ指導者の活用を行うため諸事業を展開した。

(a) 全国指導者連絡会議への参加 出席者1名

(b) 指導者全国研修会への参加 出席者2名

(c) 指導者の登録管理

(ウ) 青少年スポーツ育成事業

a. スポーツ少年団の育成強化

スポーツ少年団組織の基盤となる団員、指導者の登録を推進しつつ、組織の充実と資質の向上に努め、スポーツ少年団の県外交流である全国スポーツ少年大会や競技別交流大会に参加した。

b. 国際交流

国際交流によりグローバルな視点で団活動を捉えることを目的とし、また相互交流により地域での活発化を図るため、第42回日独スポーツ少年団同時交流事業を実施した。

c. 県内交流

県内スポーツ少年団の交歓の場として県スポーツ少年大会・競技別交流大会・地域交歓会を開催し、団員多数の参加を得て青少年育成に努めた。

d. 指導者養成

指導者の資質向上により、更に充実した活動が行えるよう認定員養成講習会を県内7会場で開催したほか、将来の指導者を育成するシニア・リーダースクールへの派遣やジュニア・リーダー養成事業等を実施し、指導活動の強化と指導者の育成事業の促進を行った。

e. スポーツ少年団登録状況

登録少年団数	657団・29市町	(昨年比 24団減)
登録指導者数	3,598名	(昨年比 61名増)
登録団員数	13,680名	(昨年比556名減)

f. 事業の内容等

(a) 日独同時交流事業

① 派遣

・派遣期間 平成27年7月31日～8月17日

・本県派遣者 指導者1名、団員2名

② 受入

- ・受入期間 平成27年8月2日～6日までの4泊5日間、伊勢市において受け入れた。
- ・受入人員 ドイツ・ヴェルテンベルグスポーツユース指導者1名、団員9名
- ・行動内容 民泊家庭における生活体験、地元スポーツ少年団等とのスポーツ活動他

(b) 各種スポーツ少年大会

事業名	開催地	期日	参加者数		備考
			指導者	団員	
第53回全国スポーツ少年大会	宮城県／大崎市田尻総合体育館他	27.8/1～4	1名	8名	
第37回全国スポーツ少年団軟式野球交流大会	徳島県／オロナミンC球場他	27.8/1～4	5名	14名	
第38回全国スポーツ少年団剣道交流大会	鹿児島県／鹿児島アリーナ他	28.3/26～28	1名	7名	
第13回全国スポーツ少年団バレーボール交流大会	福岡県／黒崎ひびしんホール他	28.3/27～30	3名	8名	
第46回東海ブロックスポーツ少年大会	愛知県青年の家	9/19～21	4名	30名	リーダーは指導者に含む
第27回東海ブロックスポーツ少年団競技別交流大会					
ソフトボール競技	三重県・鈴鹿川河川緑地運動公園	11/8	2名	9名	三重県選抜チーム
サッカー競技	静岡県・浜北平ロサッカー場	12/20	3名	17名	有緝サッカー少年団
バレーボール競技	岐阜県・岐阜メモリアルセンターふれ愛ドーム	12/20	2名	8名	樺JVC男子鈴鹿キッズ
第37回全国スポーツ少年団軟式野球交流大会東海ブロック予選	静岡県・掛川市営球場	6/27	4名	14名	内部ライオンス（四日市市）
三重県スポーツ少年団競技別交流大会	伊賀市運動公園野球場他	4/26、5/2	—	16チーム	軟式野球
	県営サンアリーナ	6/14	—	49チーム	バドミントン
	鈴鹿河川緑地グラウンド	8/1	—	36チーム	ソフトボール
	鈴鹿市内小学校体育館他	11/8・12/6、13	—	59チーム	バレーボール
	名張市総合体育館他	12/5	—	16チーム	ミニバスケットボール
	津市立体育館	28.3/5	—	69名	卓球
四日市市中央緑地体育館	10/12	61名	636名	剣道	
第46回三重県スポーツ少年大会	松阪市鈴の森体育館	12/20	37名	186名	ウォークラリー大会

(c) 指導者養成

事業名	会場地	期日	参加者数	備考
			指導者	
認定育成員研修会	東京エレクトロホール宮城	10/24	1名	
	国立リハビリセンター記念青少年総合センター	10/17・11/15	2名	
	愛知県教育会館	10/31	11名	
	チサンホテル新大阪	11/8	3名	
東海ブロックスポーツ少年団指導者研究協議会	愛知県・ホテルルブラ王山	11/28～29	8名	
認定員養成講習会	鈴鹿市	9/5～6	19名	
	津市	9/12～13	60名	
	いなべ市	12/5～6	40名	
	伊賀市	12/12～13	38名	
	伊勢市	12/19～20	59名	
	四日市市	28.2/6～7	57名	
熊野市	28.2/6～7	26名		
母集団育成事業	鈴鹿市	7/4	20名	

(d) リーダー養成

事業名	会場地	期日	参加者数		備考
			指導者	団員	
日本スポーツ少年団 シニア・リーダースクール	国立中央青少年交流の家	8/6～10	—	4名	
第20回東海ブロックスポーツ 少年団リーダー研究大会	岐阜県/岐阜市少年自然の家	28.3/19～20	2名	11名	
三重県スポーツ少年団 ジュニア・リーダースクール	鈴鹿青少年センター	7/11～12	16名	29名	指導者にはリーダー 等含む

(e) 地域活動の促進

事業名	会場地	期日	参加者数		備考
			指導者・団員		
地域交歓会	員弁運動公園体育館	28.1/17	97名		桑員
	アビックスあさひボウリング場	28.1/10	122名		三泗
	鈴鹿青少年の森	28.1/17	550名		鈴亀
	津市芸濃総合文化センター内アリーナ	11/29	258名		津
	大台町役場本庁前 他	28.3/27	180名		松阪多気
	伊勢フットボールヴィレッジ	5/6	414名		伊勢度会
	鳥羽市民体育館	9/6	356名		鳥羽志摩
	上野運動公園競技場	28.1/17	681名		伊賀・名張
	尾鷲市体育文化会館	11/8	88名		尾鷲北牟婁
	くまのスタジアム他	11/14、15、22	773名		熊野南牟婁
10ブロック		3,519名			

(f) 総合型地域スポーツクラブ育成推進事業

生涯スポーツ社会を早期に実現するため、地域住民の身近なスポーツ活動の場として期待される総合型クラブを育成し、地域住民による自主的・自発的な総合型クラブの組織化及び定着化に向けた支援を行った。

a SCみえネットワーク代表者会議の開催

総合型クラブの定着・発展のため、設立した総合型クラブ関係者を対象にクラブ運営に関わる情報交換・協議や総合型クラブ間の交流事業を行うSCみえネットワーク代表者会議を開催した。

(a) 第1回：平成27年7月14日 三重県体育協会事務局 会議室 出席者 8名

(b) 第2回：平成28年3月 9日 三重県体育協会事務局 会議室 出席者 7名

b クラブミーティングの開催

クラブ間の情報交換等を行うことにより、県内各地の総合型クラブの連携・強化やクラブマネージャー等、クラブ関係者の資質向上を図る会議を県広域スポーツセンターと連携し、5会場で開催した。

(a) 南志ブロック：平成27年8月 5日 三重県伊勢庁舎 参加者23名

(b) 東紀州ブロック：平成27年8月 7日 三重県熊野庁舎 参加者 4名

(c) 北ブロック：平成27年8月19日 三重県四日市庁舎 参加者32名

(d) 伊賀ブロック：平成27年8月20日 ゆめポリスセンター 参加者 8名

(e) 中ブロック：平成27年8月22日 三重県津庁舎 参加者 5名

(g) スポーツ医・科学研究調査事業

a. 国体選手の健康管理に関する調査・研究

本県国体参加選手367名に対してメディカルチェックを行った。また、精密検査を要する選手に対して、判定委員による再度のチェックを行い、その結果については競技団体を通じ指導助言をし、医学面からの事故防止に努めた。

b. スポーツ医・科学調査研究事業

選手に対する指導法及び健康管理について、医学・科学面の専門家と学識経験者及び現場指導者からなるスポーツ医・科学委員会を設置し、医・科学的な選手強化研究を行うべく取り組んだ。

スポーツ医・科学委員会の委員を中心に結成した実行委員会は、スポーツ医学・薬学班、体力科学班、スポーツ心理学班、コーチング・マネジメント班、スポーツ栄養学班に分かれ、指定選手の調査研究事業を進めながら、研究成果を指導者等にフィードバックするため、スポーツ医・科学セミナーを開催し、成果報告書として「スポーツ医・科学研究MIE第23巻」を発行した。

(a) 調査研究対象:三重県弓道連盟（ジュニア選手）（2年目）

(b) 第23回三重県スポーツ医・科学セミナー 兼 スポーツ指導者研修会の開催

開催期日：平成28年1月21日(木)

場 所：三重へ県男女共同参画センター 多目的ホール（三重県総合文化センター内）

参加者：235名（内、ドクター4名、公認スポーツ指導員172名、競技団体系者他 59名）

内 容：第1部 講演「四日市工業高校テニス部のチームづくり」

講師 馬瀬 隆彦 氏（三重県地域連携部スポーツ推進局スポーツ推進課
みえスポーツアドバイザー）

講師 徳丸 真史 氏（四日市工業高等学校教諭）

第2部 講演「女性アスリートの心とからだ」

講師 山口 香 氏（筑波大学大学院体育系准教授）

c. 国体選手を中心としたアンチドーピング教育・啓発事業

国体選手・監督を中心にアンチドーピング教育・啓発活動を実施し、薬物の乱用・誤用に対する認識を高めることにより、健全なスポーツ活動の推進を目的として、ドーピング講習会を実施した。

期 日：平成27年9月17日(木)

会 場：三重県総合文化センター内 文化会館1F「レセプションルーム」

参加者：国体監督（46名）及び本部役員（11名） 計57名

講 師：福田 亜紀 氏（スポーツ医・科学委員）

山本 将之 氏（スポーツ医・科学委員）、米川 由起子 氏（三重県薬剤師会）

d. 派遣事業

(a) 第70回国民体育大会ドクターズ・ミーティングへの参加

期日《場所》 平成27年9月25日（金）《和歌山県白浜町》

派遣者数 日本体育協会公認スポーツドクター 1名

(b) 第70回国民体育大会本県選手団本部役員（帯同ドクター）活動

期日《場所》 平成27年9月25日（金）～10月5日（月）《和歌山県内》

派遣者数 日本体育協会公認スポーツドクター 5名

(c) スポーツドクター代表者協議会の参加

期日《場所》 平成28年3月5日（土）《東京都》

派遣者数 日本体育協会公認スポーツドクター 1名

(f) 選手育成強化事業

各競技団体が実施する選手の強化、ジュニア選手の発掘・育成、指導者の養成、スポーツ医・科学専門家の活用とスポーツ指導員の配置や指導者養成のための研修会などを実施し、国内外の大会で活躍できる選手を養成することで、競技力向上を効果的に推進した。また、女性アスリートが活動しやすい環境を整えるための事業や三重県内の企業等とトップアスリートの就職支援を推進するための活動を行った。

a 競技力向上対策事業

(a) トップ選手強化

本協会加盟団体のうち、国民体育大会正式競技種目を対象に事業費を交付し、各競技団体が年間を通じて行う県内トップレベル選手の強化活動の支援を行った。

① 実施競技団体 40競技団体

② 合宿練習の実施

競技力向上を図るため、県内合宿・県外合宿を実施した。

・ 県内合宿 59回 参加者数 1,356名

- ・ 県外合宿 84回 参加者数 1,174名
- ・ 日常練習 301回 参加者数 7,379名
- ・ 外部指導者の招聘 7回 指導者数 21名

③ 研修会の参加

指導者がより高い指導力の養成を図るため、県外での研修会に参加した。
7回 参加者数 21名

(b) チームみえ指導者研修会

本県トップレベルの指導者に対し、最新の指導理論、スポーツ医・科学等に基づく知識を習得するために研修会を開催した。また、短期的、中・長期的な視点に立った本県競技力向上の取組について、共通理解を深めるとともに、「チームみえ」の中核指導者としての自覚を促進した。

期 日：平成28年2月27日（土）

会 場：プラザ洞津

参加者：62名(23競技)

内 容：講演 「チームマネジメント」

講師 飯島 健二郎 氏 ロンドンオリンピックトライアスロン日本代表監督
JOCトライアスロン専任コーチ

コーディネーター 杉田 正明 氏 三重大学教育学部教授

(c) 医・科学サポート

実施競技：7競技団体

派遣日数：延べ202日

派遣スタッフ：34名

対象者：監督、選手等延べ14,038名

(d) スポーツ指導員配置

全国・国際スポーツ大会等で活躍する現役の成年選手を、年間を通して指導現場に派遣することで、ジュニア・少年選手の競技力向上を図るとともに、競技力向上の中核を担う指導者の資質向上を図った。

実施競技：水泳（飛込）1名、セーリング1名、なぎなた1名（合計3名）

(e) 女性アスリートサポート

①女性アスリート及び指導者の研修会を開催し、女性アスリートが抱える諸問題について実態を把握するとともに、継続して競技に取り組むための調査・研究を行った。

第1回研修会 平成27年7月20日 講師：有森裕子氏

第2回研修会 平成27年12月19日 講師：小出義雄氏

また、日本スポーツ振興センターと国立スポーツ科学センター主催の「女性ジュニアアスリート指導者講習会」にみえ女性スポーツ指導者の会から4名派遣し、県外研修を実施して情報収集を行った。

②三重県産婦人科医会と連携し、女性アスリートが抱える諸問題について実態を把握するとともに、助言を行えるよう相談窓口等によりサポートを図った。

みえ女性アスリート専用電話窓口を開設し、4名の産婦人科医の協力のもと、平成27年8月から11月の期間に16回の相談窓口を実施した。相談件数は7件。

③平成28年以降の国民体育大会から新たに正式競技として導入される女子の競技・種目の競技人口拡大を図るため、女子スポーツ体験会を開催した。

・ラグビーフットボール 平成27年11月15日 三重県立朝明高等学校 参加者13名

・自転車競技 平成27年11月22日 四日市競輪場 参加者22名

(f) トップアスリート等就職支援

平成33年に本県で開催する国民体育大会での天皇杯・皇后杯の獲得を目指すとともに、大会終了後も安定した競技力を確保するため、全国・国際スポーツ大会で活躍するトップアスリートの就職支援を行う事業として、本年度は県内の企業・事業所等を訪問し、説明及び協力をお願いを行った。

・ 訪問実績 125の企業または事業所

・ 就職実績 3名

b. チームみえジュニア育成事業

(a) ジュニア育成

年間を通じて将来有望な中学生以下のジュニア選手を中心に、各競技団体が育成を行い、長期的に競技力向上を目指すため、以下の事業を実施した。

- ① 日常練習の実施（31競技種目）
- ② 合宿練習の実施（8競技種目）

(b) ジュニアクラブ強化指定

三重県競技力向上対策本部において強化指定クラブとして決定された県内のジュニアクラブに対し、全国大会等で活躍するための強化活動の支援を行い、重点的な競技力向上を図った。

- ・一志ジュニアレスリング教室 全国大会参加1回実施 指導者2名、選手5名
平成27年11月27日～11月29日 駒沢オリンピック公園体育館
- ・三重ウォーターポロスターズ 県外強化練習1回実施 指導者3名、選手20名
平成27年8月3日～8月5日 白山市立松任中学校

(c) ジュニア選手発掘

県内に在住する小中学生を対象として、将来国内外で活躍するトップアスリートとなるジュニア選手を発掘することを目的とし、年間計画に基づき、各競技スポーツ体験会によりジュニア選手を発掘し、競技練習会（育成プログラム）及びスポーツ教育プログラムを実施した。

① スポーツ体験会の開催

水球

期日：平成27年7月25日（土） 会場：三重交通G スポーツの杜 鈴鹿 水泳場

期日：平成27年8月 8日（土） 会場：四日市市温水プール

期日：平成27年8月 9日（日） 会場：四日市市温水プール

参加者数：150名

飛込

期日：平成27年7月20日（土） 会場：三重交通G スポーツの杜 鈴鹿 水泳場

参加者数：88名

ボート

期日：平成27年8月 9日（日） 会場：津ヨットハーバー

期日：平成27年9月19日（土） 会場：大台町B&G海洋センター

参加者数：19名

ボクシング

期日：平成27年8月30日（土） 会場：県立久居農林高等学校ボクシング場

参加者数：16名

ボウリング

期日：平成27年8月 1日（土） 会場：津グランドボウル

参加者数：76名

ホッケー

期日：平成27年8月 8日（土） 会場：名張市立梅が丘小学校

参加者数：19名

② 競技者練習会（育成プログラム）の実施

水球

実施期間：平成27年7月29日～平成28年2月27日 延べ参加者数：540名

飛込

実施期間：平成27年7月28日～平成28年1月16日 延べ参加者数：183名

ボート

実施期間：平成27年8月21日～平成28年3月19日 延べ参加者数：88名

ボクシング

実施期間：平成27年10月17日～平成28年2月20日 延べ参加者数：23名

ボウリング

実施期間：平成27年9月6日～平成28年2月7日 延べ参加者数：735名

ホッケー

実施期間：平成27年9月5日～平成28年3月13日 延べ参加者数：261名

③ スポーツ教育プログラム研修会の開催

競技練習会（育成プログラム）に継続して参加しているジュニア選手を対象として、体力測定プログラムやスポーツを行う基礎となる体づくりや知識を身につけるプログラムを実施した。また、ジュニア選手の保護者に対しても栄養学等の保護者プログラムを実施した。

1回目 平成27年11月8日（日） 三重県立鈴鹿青少年センター 参加者数：23名

2回目 平成28年 3月13日（日） 津市安濃中央総合公園内体育館 参加者数：28名

(d) スポーツ少年団育成

県内で活動するスポーツ少年団において、団員の育成及び指導者の資質向上を目的とした研修会を2回実施した。

1回目 平成27年 9月11日（金） 伊勢市ハートプラザみその

2回目 平成27年 9月12日（土） 三重交通Gスポーツの杜鈴鹿

3回目 平成27年10月16日（金） 御浜町役場くろしおホール

4回目 平成27年10月17日（土） 上野フレックスホテル

内容 講義「運動遊びからスポーツ活動へ～楽しい運動遊びから子ども達のスポーツライフがはじまる～」

講師 富田 寿人 氏（静岡理工科大学教授）

c. 高校生アスリート育成事業

トップアスリート研修会

国内大会において上位入賞した高校生及びその指導者に対し、日本のトップアスリート及びオリンピック選手を目指すうえで必要な資質の育成を図るとともに、「チームみえ」としての自覚を促し、本県の競技スポーツを牽引する資質の向上を図るため研修会を実施した。

期 日：平成28年2月13日（土）～14日（日）

会 場：三重交通G スポーツの杜 鈴鹿水泳場会議室及びスポーツマンハウス鈴鹿

参加者：37名(8競技)

内 容：セミナー1 「オリンピックとの交流」

講師：鈴木 美保 氏（公財）三重県体育協会副会長

沖田 稔 氏（公財）三重県体育協会 強化・普及委員会委員長

セミナー2 「メディア対応について」

講師：平田 雅輝 氏 三重テレビアナウンサー

セミナー3 「スポーツ栄養学」

講師：櫻井 智美 氏 管理栄養士

セミナー4 「応用スポーツ心理学に基づくフロー理論

～揺らぐ・とらわれずの心の創り方～

講師：辻 秀一 氏 株式会社エミネクロス代表

(キ) 国民体育大会等の派遣・開催事業

a. 国民体育大会東海ブロック大会

(a) 国民体育大会第36回東海ブロック大会(平成27年度・三重県開催)

競 技：31競技

期 間：平成27年5月23日（土）～ 8月23日（日）

場 所：4県11市3町

参加数：2,835名（内、本県選手団 668名）

本県予選通過 19競技30種別（種目） ※別紙第36回東海ブロック大会成績一覧表参照
（馬術：自馬競技の4県枠除く）

(b) 第71回国民体育大会冬季大会アイスホッケー競技会 北信越・東海ブロック予選会(成年の部)

期 間：平成27年12月11日（金）～13日（日）

場 所：「アクアリーナ豊橋」 愛知県豊橋市

参加数：22名

【ブロック代表獲得県】 本大会出場県：新潟県、石川県、愛知県、長野県

国民体育大会第36回東海ブロック大会成績一覧表

<H27年度・三重県開催>

○数字は通過順位を示す

No.	競技名	種別	種目	選手数	参考前年	代表	愛知	静岡	岐阜	三重	
1	水泳	少年男子	水球	11	1	→ 2	4	②	①	3	
		少年女子	シンクロ	2	2	→ 2	①	②	—	3	
2	サッカー	成年男子		15	2	→ 1	3	2	3	①	
		女子		15	2	→ 1	3	2	3	①	
3	テニス	少年男子		16	2	→ 2	②	①	3	4	
		成年男子			→	ストレート	ストレート	ストレート	ストレート		
		成年女子		3	→	ストレート	ストレート	ストレート	ストレート		
		少年女子			→	ストレート	ストレート	ストレート	ストレート		
4	ボート	成年男子	舵手付フォア	6	2	→ 2	②	3	①	4	
			ダブルスカル			→	ストレート	ストレート	ストレート	ストレート	
			シングルスカル	1	2	→ 2	②	4	3	①	
		成年女子	舵手付クドルプル	6	2	→ 1	①	3	2	—	
			ダブルスカル	2	1	→ 1	①	3	2	—	
			シングルスカル	1	2	→ 2	①	3	②	—	
		少年男子	舵手付クドルプル	6	2	→ 2	②	3	①	4	
			ダブルスカル	2	1	→ 2	4	②	①	3	
			シングルスカル	1	1	→ 2	3	②	①	4	
			舵手付クドルプル	6	2	→ 2	①	②	3	4	
少年女子	ダブルスカル	2	1	→ 1	3	①	2	4			
	シングルスカル	1	1	→ 2	3	①	②	4			
5	ホッケー	成年男子		18	1	→ 1	①	3	2	3	
		成年女子		18	1	→ 1	3	2	①	3	
		少年男子		18	1	→ 1	2	3	①	—	
		少年女子		18	1	→ 1	2	3	①	—	
6	ボクシング	成年男子		5	2	→ 2	①	②	3	4	
		少年男子		5	2	→ 2	①	4	3	②	
7	バレーボール	成年男子	6人制	12	1	→ 1	2	①	3	3	
		成年女子	6人制	12	1	→ 1	2	3	①	3	
		少年男子		12	2	→ 2	①	3	4	②	
		少年女子		12	2	→ 2	①	②	4	3	
8	体操	成年男子	競技	5	1	→ 1	3	2	4	①	
		成年女子	競技	5	1	→ 1	2	①	3	4	
		少年男子	競技	5	2	→ 2	①	4	②	3	
			新体操			→	休 止				
		少年女子	競技	5	3	→ 3	①	②	③	4	
			新体操	7	2	→ 3	①	②	4	③	
9	バスケットボール	成年男子		12	1	→ 1	①	3	2	3	
		成年女子		12	1	→ 1	2	①	3	3	
		少年男子		12		→ 1	①	2	3	3	
		少年女子			1	→	ストレート	ストレート	ストレート	ストレート	
10	ウェイトリフティング	成年男子		9	3	→ 3	②	4	①	③	
		少年男子			→	ストレート	ストレート	ストレート	ストレート		
11	ハンドボール	成年男子		15	2	→ 2	①	4	3	②	
		成年女子		15	2	→ 1	2	3	3	①	
		少年男子		15	2	→ 2	①	3	4	②	
		少年女子		15	2	→ 2	①	3	4	②	
12	ソフトテニス	成年男子			1	→	ストレート	ストレート	ストレート	ストレート	
		成年女子		5	1	→ 2	3	4	①	②	
		少年男子		5	1	→ 2	①	3	4	②	
		少年女子		5		→ 1	2	4	3	①	
小計①				370	69		69	24	15	15	15

No.	競技名	種別	種目	選手数	参考前年	代表	愛知	静岡	岐阜	三重	
13	卓球	成年男子		3	3	→ 2	①	4	②	3	
		成年女子			1	→	ストレート	ストレート	ストレート	ストレート	
		少年男子		3	2	→ 3	①	②	③	4	
		少年女子		3		→ 1	①	3	2	4	
14	軟式野球	成年男子		15	3	→ 2	②	3	4	①	
15	馬術	※ 自馬競技		17	18	→ 18	3	8	4	3	
		少年	団体障害		1	→ 1	3	①	4	2	
16	フェンシング	成年男子				→	ストレート	ストレート	ストレート	ストレート	
		成年女子		4	1	→ 1	3	4	①	2	
		少年男子		4	2	→ 1	2	3	①	4	
		少年女子		4	1	→ 2	②	3	①	4	
17	柔道	成年男子				→	ストレート	ストレート	ストレート	ストレート	
		成年女子		3	1	→ 2	②	①	4	3	
		少年男子		5	1	→ 1	①	3	4	2	
		少年女子		3	1	→ 1	①	2	3	4	
18	ソフトボール	成年男子		15	1	→ 1	①	3	2	3	
		成年女子		16	1	→ 1	①	3	2	3	
		少年男子		16	1	→ 1	2	①	3	3	
		少年女子		16	1	→ 1	①	3	3	2	
19	バドミントン	成年男子		3		→ 1	3	2	①	4	
		成年女子			1	→	ストレート	ストレート	ストレート	ストレート	
		少年男子		3	1	→ 2	①	3	4	②	
		少年女子		3	3	→ 1	2	4	3	①	
20	弓道	成年男子		3	2	→ 2	4	3	①	②	
		成年女子		3	2	→ 2	4	3	①	②	
		少年男子		3	2	→ 2	②	3	①	4	
		少年女子		3	2	→ 2	①	②	4	3	
21	ライフル射撃	成年男子	50m3×40M	1	3	→ 2	4	②	①	3	
			50mP60M K20M	1	3	→ 3	②	①	③	4	
			10m S60M・P60M		3	→	ストレート	ストレート	ストレート	ストレート	
			10m AP60M	1	1	→ 1	3	2	①	4	
			CP60M CP30M			→	ストレート	ストレート	ストレート	ストレート	
		成年女子	50m3×20W P60W	1	2	→ 2	①	②	3	—	
			10m S40W・P40W	1		→ 2	3	①	②	4	
			10m AP40W	1	1	→ 1	2	①	3	4	
			BR S40W T60W			→	/	/	/	/	
			少年男子	10mS60JM	1		→ 3	4	②	①	③
	BR S60JM S30JM	1	2	→ 2	3	3	①	②			
	BP40JM	1	2	→ 2	②	3	①	4			
少年女子	10mS40JW		2	→	ストレート	ストレート	ストレート	ストレート			
	BRS40JW S20JM	1	2	→ 2	②	3	①	4			
	BP40JW	1	1	→ 1	2	4	①	3			
22	剣道	成年男子				→	ストレート	ストレート	ストレート	ストレート	
		成年女子		3	1	→ 1	2	3	①	4	
		少年男子		5	1	→ 1	3	2	①	4	
		少年女子		5	1	→ 1	3	2	①	4	
23	ラグビーフットボール	成年男子		10	1	→ 1	①	3	4	2	
		少年男子		23	1	→ 1	①	3	2	3	
24	山岳	成年男子	リード・ホルダリング			→	ストレート	ストレート	ストレート	ストレート	
		成年女子	リード・ホルダリング	2	1	→ 2	4	①	②	3	
		少年男子	リード・ホルダリング	2	2	→ 2	4	3	①	②	
		少年女子	リード・ホルダリング	2	1	→ 1	①	2	3	4	
小計② (15 馬術:自馬競技除く)				211	65		64	21	12	23	8

○数字は通過順位を示す

No.	競技名	種別	種目	選手数	参考前年	代表	愛知	静岡	岐阜	三重	
25	カヌー	成年男子	K-1(カヤックS)	1	2	→	2	①	3	3	②
			C-1(カナディアンS)	1	2	→	2	①	②	3	—
			スラローム	1	2	→	2	②	3	①	—
			ワイルドウォーター	1	2	→	2	3	②	①	—
		成年女子	K-1(カヤックS)	1	2	→	2	②	①	3	4
			スラローム	1	2	→	2	②	4	①	3
		少年男子	K-1(カヤックS)	1	3	→	3	①	②	③	4
			K-2(カヤックP)	2	1	→	1	①	2	3	—
			K-4(カヤックF)	4		→	1	①	2	4	3
			C-1(カナディアンS)	1	2	→	2	①	②	3	4
		少年女子	C-2(カナディアンP)	2	1	→	1	①	2	3	4
			K-1(カヤックS)	1	2	→	2	①	②	3	—
K-2(カヤックP)	2		1	→	1	①	2	3	—		
K-4(カヤックF)			1	→							
26	アーチェリー	成年男子		3	2	→	2	3	②	①	4
		成年女子		3	2	→	2	②	①	3	4
		少年男子		3	1	→	1	①	3	2	4
		少年女子		3	1	→	1	3	4	2	①
27	空手道	成年男子	組手(個人・団体)			→		ストレート	ストレート	ストレート	ストレート
			形	1	2	→	2	②	4	①	3
		成年女子	組手(個人・団体)			→		ストレート	ストレート	ストレート	ストレート
			形	1	2	→	2	②	3	①	4
		少年男子	組手(個人・団体)			→		ストレート	ストレート	ストレート	ストレート
			形	1		→	2	3	②	①	4
		少年女子	組手(個人・団体)			→		ストレート	ストレート	ストレート	ストレート
			形		2	→		ストレート	ストレート	ストレート	ストレート
28	銃剣道	成年男子			→		ストレート	ストレート	ストレート	ストレート	
		少年男子	4	1	→	1	①	—	—	2	
29	クレー射撃	トラップ			→		ストレート	ストレート	ストレート	ストレート	
		スキート	6	3	→	3	③	4	②	①	
30	なぎなた	成年女子	演技・試合			→		ストレート	ストレート	ストレート	ストレート
		少年女子	演技 試合	3	3	→	3	③	4	②	①
31	ボウリング	成年男子		4	2	→	2	①	4	②	3
		成年女子		4	2	→	2	②	4	①	3
		少年男子		2	3	→	3	①	4	③	②
		少年女子		2	3	→	3	②	①	4	③
32	ゴルフ	成年男子			→		ストレート	ストレート	ストレート	ストレート	
		女子			→		ストレート	ストレート	ストレート	ストレート	
		少年男子	3	2	→	2	②	4	3	①	
小計③				63	55		55	24	11	13	7
合計(①+②+③)				644	189		188	69	38	51	30

※東海大会を実施しない競技→水泳(競泳、飛込)、陸上、セーリング、レスリング、自転車、相撲、テニス

(注1) 各県欄の数字は順位。○数字が代表権獲得県。

(注2) 15 馬術：自馬競技は、国体への出場選手数を代表数として計算。

※15 馬術： 自馬競技代表数内訳	代表	愛知	静岡	岐阜	三重
成年男子 代表数	7	1	3	2	1
成年女子 代表数	5	1	2	1	1
少年 代表数	6	1	3	1	1
小計	18	3	8	4	3

総計 (合計+※15 馬術)	代表	愛知	静岡	岐阜	三重
	206	72	46	55	33

【通過数及び出場枠占有率】

	1位(突破率)	2位(突破率)	3位(突破率)	合計(突破率)
愛知県	46 41%	21 32%	2 18%	69 37%
静岡県	17 15%	21 32%	0 0%	38 20%
岐阜県	37 33%	9 14%	5 45%	51 27%
三重県	12 11%	14 22%	4 36%	30 16%
合計	188種別 (馬術:自馬競技の4県除く)			

【通過数の内訳】

		成年男子			成年女子			少年男子			少年女子		
		①通過	②通過	③通過									
愛知県	①通過	10	18	38%	5	11	30%	18	23	38%	13	17	40%
	②通過	7			6			5			3		
	③通過	1			0			0			1		
静岡県	①通過	2	7	15%	9	10	27%	3	11	18%	3	10	24%
	②通過	5			1			8			7		
	③通過	0			0			0			0		
岐阜県	①通過	10	14	29%	9	12	32%	13	17	28%	5	8	19%
	②通過	3			3			1			2		
	③通過	1			0			3			1		
三重県	①通過	5	9	19%	2	4	11%	1	10	16%	4	7	17%
	②通過	3			2			8			1		
	③通過	1			0			1			2		
合計		48			37			61			42		

※平成20年 第29回大会から馬術(少年)団体障害をカウントに含む。

国	体(ブロック予選)	愛知県	静岡県	岐阜県	三重県	通過枠合計
平成27年	和歌山県(第36回 予選通過)	69種目(36.7%)	38種目(20.2%)	51種目(27.1%)	30種目(16.0%)	188種目
平成26年	長崎県(第35回 予選通過)	68種目(36.0%)	36種目(19.0%)	61種目(32.3%)	24種目(12.7%)	189種目
平成25年	東京都(第34回 予選通過)	66種目(35.3%)	39種目(20.9%)	60種目(32.1%)	22種目(11.8%)	187種目
平成24年	岐阜県(第33回 予選通過)	75種目(49.3%)	48種目(31.6%)	開催県(全種別参加)	29種目(19.1%)	152種目
平成23年	山口県(第32回 予選通過)	68種目(35.2%)	34種目(17.6%)	63種目(32.6%)	28種目(14.5%)	193種目
平成22年	千葉県(第31回 予選通過)	62種目(33.0%)	43種目(22.9%)	61種目(32.4%)	22種目(11.7%)	188種目
平成21年	新潟県(第30回 予選通過)	67種目(35.4%)	39種目(20.6%)	62種目(32.8%)	21種目(11.1%)	189種目
平成20年	大分県(第29回 予選通過)	70種目(36.5%)	45種目(23.4%)	52種目(27.1%)	25種目(13.0%)	192種目
平成19年	秋田県(第28回 予選通過)	64種目(37.2%)	44種目(25.6%)	41種目(23.8%)	23種目(13.4%)	172種目
平成18年	兵庫県(第27回 予選通過)	69種目(38.1%)	47種目(26.0%)	42種目(23.2%)	23種目(12.7%)	181種目

b. 第70回国民体育大会

期 間：本大会 平成27年9月26日（土）～10月6日（火）

但し、水泳・体操・セーリング競技会は9月6日（日）～ 9月13日（日）

バスケットボール競技は、9月22（火）～26（土）

場 所：和歌山県（一部競技 大阪府・滋賀県・兵庫県・神奈川県）

参加者：三重県選手団 434名

成 績：男女総合（天皇杯） 27位・ 918.0点（第70回冬・本大会）

女子総合（皇后杯） 23位・ 502.0点（第70回冬・本大会）

競技別成績（天皇杯）

第70回国民体育大会男女総合成績競技別一覧（入賞競技22）

競技順位	競 技 名	競技得点	参加点	合 計
2	サッカー	64.0	10.0	74.0
4	ウエイトリフティング	66.0	10.0	76.0
8	レスリング	32.5	10.0	42.5
7	ソフトテニス	35.0	10.0	45.0
11	テニス	18.0	10.0	28.0
12	馬術	28.0	10.0	38.0
12	アーチェリー	15.0	10.0	25.0
13	体操競技	15.0	10.0	25.0
13	柔道	12.5	10.0	22.5
14	バスケットボール	12.5	10.0	22.5
14	ハンドボール	25.0	10.0	35.0
14	自転車競技	14.0	10.0	24.0
14	ボウリング	25.0	10.0	35.0
15	ゴルフ	6.0	10.0	16.0
17	陸上競技	46.0	10.0	56.0
17	水泳	36.0	10.0	46.0
18	セーリング	10.0	10.0	20.0
18	空手道	7.0	10.0	17.0
19	弓道	24.0	10.0	34.0
20	フェンシング	9.0	10.0	19.0
21	ボクシング	12.5	10.0	22.5
27	ボート	5.0	10.0	15.0
小計	22 競技	518.0	220.0	738.0
	スケート・アイスホッケー・スキー・ホッケー・バレーボール ・卓球・軟式野球・相撲・ソフトボール・バドミントン・ライ フル射撃・剣道・ラグビーフットボール・山岳・カヌー・銃剣 道・クレール射撃・なぎなた 18 競技		180.0	180.0
27 位	40 競技	518.0	400.0	918.0

c. 第71回国民体育大会冬季大会

〈スケート・アイスホッケー競技会〉

期 間：平成28年1月27日（水）～ 1月31日（にと）

場 所：岩手県(盛岡市)

参加者：三重県選手団 4名（スケート競技会のみ参加）

成 績：男女総合（天皇杯） 32位・計 20.0点（スケート・アイスホッケー競技会小計）

〈スキー競技会〉

期 間：平成28年2月20日（土）～ 2月23日（火）

場 所：岩手県(八幡平市)

参加者：三重県選手団 29名

成 績：男女総合（天皇杯） 21位・計13.0点〈うち、競技得点3.0点〉（スキー競技会小計）

○各種競技会への協力

期 日	後援した大会名・事業名	開催地
4月18日～29日	平成27年度第65回三重県高等学校総合体育大会	県内各地
4月26日	第29回三重県なぎなた選手権	津市
5月2日	平成27年度第65回三重県高等学校総合体育大会 軟式野球(定通制)	亀山市
5月3日	第36回日本拳法三重県総合大会	伊勢市
5月4日	第24回三重県武術太極拳フェスティバル	桑名市
5月9日	第18回三重県障がい者スポーツ大会 フライングディスク	津市
5月10日・17日・24日・29日・31日	平成27年度第65回三重県高等学校総合体育大会 ラグビー	鈴鹿市
5月16日	平成27年度三重県中学生学校対抗ソフトテニス大会	鈴鹿市
5月17日	第14回東海マスターズ陸上競技選手権大会	伊勢市
5月23日～31日	平成27年度第65回三重県高等学校総合体育大会	県内各地
6月13日	平成27年度三重県中学生ソフトテニス選手権大会	桑名市
6月14日	永和商事ウイングカップ2015 第46回日本少年野球選手権大会 三重県支部予選大会	四日市市 伊勢市 他
6月14日～21日	平成27年度第65回三重県高等学校総合体育大会	県内各地
7月11日	三重県立看護大学地域交流センター 平成27年度第1回公開講座「歩き方を変える」だけで10歳若返る!	津市
7月12日	三重県知事杯第2回三重県小・中学生なぎなた選手権大会	津市
7月18日	第30回三重県ゲートボール選手権大会	伊勢市
7月25日～31日	平成27年度三重県中学校総合体育大会	県内各地
8月2日	第39回伊勢湾オープンヨットレース大会	津市
8月6日～10日	第37回東海中学校総合体育大会	県内各地
8月12日・13日	第45回中部日本地区選抜中学軟式野球大会	愛知県名古屋
8月24日	第11回三重テレビカップジュニアゴルフ大会	鈴鹿市
9月6日・10月4日・11月1日・29日・12月20日・1月24日・2月21日・3月20日	三重県グラウンドソフトボール審判員養成講習会	津市
9月8日・9日・15日	ソニー生命カップ第37回全国レディーステニス大会	鈴鹿市
9月11日～16日	天皇賜杯 第70回全日本軟式野球大会	四日市市他
9月13日	第一三共ヘルスケアレディース2015 第27回東海ブロックレディース卓球大会	伊勢市
9月19日・20日10月8日・11月1日・14日	第19回コカ・コーライーストジャパンカップ三重県ママさんバレーボール大会	桑名市他
9月20日	第30回東海地域ゲートボール選手権大会	四日市市
9月21日	2015年NBクレスカップ総合武道大会	鈴鹿市
9月22日	第9回東海北陸ジュニア武術太極拳大会	桑名市
10月3日	第18回三重県障がい者スポーツ大会・陸上競技	伊勢市
10月3日・4日	勢和多気国際クロスカントリー	多気町
10月10日・11日	平成27年度三重県中学校総合体育大会 陸上競技	伊勢市
10月10日	平成27年度三重県中学生新人ソフトテニス選手権大会	鈴鹿市
10月12日	第8回全日本空手道連盟和道会 三重県空手道競技大会	四日市市
10月25日	2015四日市サイクル・スポーツ・フェスティバル第11回全国ジュニア自転車競技大会	四日市市
11月13日～15日	第6回東日本シニアボウリング競技大会	津市
11月14日	平成27年度三重県中学校総合体育大会 駅伝	四日市市
11月14日	第30回三重県選抜ゲートボール大会	伊賀市

11月15日	三重県フットベースボール審判員養成講習会	津市
11月22日・23日	第34回東海高校弓道選抜大会	愛知県蒲郡市
12月5日	第18回三重県障がい者スポーツ大会 ボウリング	津市
12月5日～6日	第17回オールマスターズスイミングフェスティバルin三重	鈴鹿市
12月20日	第10回東海地区中学生弓道選手権大会	愛知県
1月10日・11日	平成27年度第65回三重県高等学校総合体育大会 スキー	岐阜県
1月16日	平成27年度障害者スポーツ振興事業 障害者理解促進フェスティバル 障がい者スポーツ普及・啓発事業（三重会場）「知る、体験する、伝えよう障がい者スポーツ」	四日市市
1月24日	第18回三重県障がい者スポーツ大会 卓球	津市
1月24日	三重県理学療法士会 市民公開講座「成長期の運動不足とスポーツ障害～子どもたちをケガから守ろう～」	鈴鹿市
2月10日・11日	三笠宮賜杯第64回中部日本スケート競技・アイスホッケー競技大会	岐阜県恵那市
2月11日	平成27年度第7回三重県知事杯 ジュニアソフトテニスシングルス選手権大会	鈴鹿市
2月14日	第26回三重県青少年銃剣道大会	伊勢市
2月27日・28日・3月5日・6日	三笠宮賜杯第64回中部日本スケート競技・アイスホッケー競技大会	愛知県名古屋市
3月20日	第12回アーニモン新体操クラブ演技発表会	四日市市
3月26日～28日	平成27年度第27回都道府県対抗全日本中学生ソフトテニス大会	伊勢市

(ク) スポーツ顕彰事業

a. 平成27年度(公財)三重県体育協会表彰式の実施

第70回国民体育大会及び平成27年(暦年)に各種競技会で活躍した選手・監督(個人)を表彰した。

(a) 国民体育大会賞(別記名簿参照)

選手、監督 156名

表彰式 平成27年11月13日(金) プラザ洞津 2階「飛翔の間」

(b) 体育協会表彰

①表彰式 平成28年2月18日(木) 四日市都ホテル

- ・ 体育功労者(別記名簿参照) 1名
- ・ 特別優秀選手及び特別優秀監督、特別優秀チーム(別記名簿参照) 10名、1チーム
- ・ 優秀選手及び優秀監督、優秀チーム(別記名簿参照) 85名、6チーム
- ・ スポーツ優良団体 1団体

※平成13年度から本協会表彰と三重県スポーツ賞表彰を合同で実施している。

(ケ) スポーツ安全保険普及事業

公益財団法人スポーツ安全協会の委託を受けて、スポーツ及び社会教育活動に伴う傷害事故、賠償責任事故の補償を行うスポーツ安全保険の加入を促進し、加入者が安心して活動ができるようにするとともに、これら活動グループの育成及び円滑化を図った。

a. スポーツ安全保険加入促進事業

スポーツ安全保険の加入受付及び手続きを行った。 総加入数：147,899名

b. スポーツ活動等の普及奨励及び事故防止の推進事業

スポーツ安全保険の普及啓発のため、市町等関係機関へ広報グッズ(文具)を配布するとともに、市町広報紙への掲載依頼をした。

また、下記の「スポーツ活動等の安全指導・事故防止に関するセミナー」を開催した。

- (a) 事業名：骨折予防！骨を丈夫にする食事講習会
期 日：平成27年11月17日（火）
参加者数：27名
会場：プリマベアラ

(㉓) 国体事業準備

- a.平成27年度第76回国民体育大会競技役員等養成事業
競技役員等養成事業の実施

- (a) 競技役員等の資格取得、資格維持及び資質向上を図るため、第76回国民体育大会に従事する見込みの者に対して次の事業を実施した。

- ① 中央講習会等派遣事業 24競技団体（28競技種目）
② 県内講習会等開催事業
14競技団体（16競技種目）

- (b) 開催競技に係る県競技団体における開催準備の推進と大会運営能力の強化を図るため、次の事業を実施した。

- ① 開催準備活動事業
28競技団体（30競技種目）
延べ養成人数 33競技団体（37競技種目） 568人

(㉔) 加盟団体との連携強化

- a. 第13回三重県スポーツ人の集い

本県のスポーツに携わる指導者、選手及び行政関係者が一堂に会し、スポーツを取り巻く様々な環境や諸問題について協議し、各分野での相互理解と連携を深めるため、講演会と懇親会を開催した。

期 日：平成28年 2月18日(木)

会 場：四日市都ホテル

参加者数：238名

内 容：講演会・懇親会

演 題「陸上競技と私」

講 師 伊東 浩司 氏

(甲南大学スポーツ・健康科学教育センター教授)

イ. 施設管理運営事業（公益事業2）

指定管理者の指定を受けて管理運営する、県営鈴鹿スポーツガーデン及び県営総合競技場は平成26年度から平成30年度の第三期指定期間の2ヵ年が終了し、県立鈴鹿青少年センターについては第三期指定管理期間の平成25年度～平成29年度までの3ヵ年目が経過した。

また、県営松阪野球場においては、本協会が指定管理施設として平成26年度から30年度までの指定を受け2ヵ年が経過した。

各施設においては、これまで培ったノウハウを活かし利用拡大を図るとともに、県の中核施設としての使命を果たすべく、関係団体と利用調整を通じて大会等の円滑な運営を行った。さらには、地域に根ざしたスポーツ・生涯学習の拠点施設として、施設の特徴を活かし、利用者ニーズに応じた多種多様なスポーツプログラムや生涯学習及び体験型プログラムを提供した。

県民に施設を知ってもらうため、施設名称を冠した主催大会と無料開放イベント等を開催し、地域に愛される施設運営を心がけ、利用者の増員に向けた取り組みを行った。

- a. 鈴鹿スポーツガーデン施設利用促進事業

- (a) 詳細資料（別添）

- b. 総合競技場施設利用促進事業

(a) 詳細資料 (別添)

c. 鈴鹿青少年センター施設利用促進事業

(a) 詳細資料 (別添)

d. スポーツマンハウス鈴鹿施設利用促進事業

本協会が保有する当施設の六期目の運營業務は、安心・安全で利用しやすい宿泊施設を目指して管理運営に取り組んだ。当施設設置の目的である鈴鹿スポーツガーデンの合宿利用のニーズに応える宿泊施設としての利用を促進するために「宿泊SPパック」、セミナーや研修での利用に「ゆったり温泉宿泊パック」、温泉と昼食がセットになった「ゆったり温泉日帰りパック」と3つのプランを設定した。

なお、旅行代理店の仲介及びウェブ予約により、より一層の集客を目指した。

広報活動としては、従来の大学等へのダイレクトメールに加えて地域のフリーペーパーに鈴鹿スポーツガーデンと合わせて利用広告を掲載し、近隣の利用者の掘り起こしを進めた。また、三重県体育協会の加盟団体へのパンフレットを送付し、利用の呼びかけをおこなった。

(a) 管理運營業務委託

- ・委託期間 平成27年4月1日から平成28年3月31日
- ・委託先 株式会社チャンピア

(b) 詳細資料 (別添)

e. 松阪野球場施設利用促進事業

(a) 詳細資料 (別添)

(2) 収益事業

ア. スポーツ施設等の利便性を向上させる事業 (収益事業1)

ア) 自動販売機設置事業

第三期指定管理期間を契機に自販機業者の入札を行い、本協会の自己財源確保と施設利用者への利便を図るとともに、指定管理者として指定を受けた施設 (鈴鹿スポーツガーデン、総合競技場、松阪野球場) のサービス向上のために自動販売機設置事業を行った。

イ. その他公益目的事業の推進に資する事業 (収益事業2)

ア) 広告事業

本協会のその他の公益目的事業の推進目的を遂行するにあたり、安定的かつ恒常的に財源の確保を得るため広告事業を実施。本協会のホームページへバナー広告掲載を募り、4事業者からの申込みがあった。

ウ. その他公益目的事業の推進に資する事業 (収益事業3)

ア) 太陽光発電事業

本協会のその他の公益目的事業の推進目的を遂行するにあたり、スポーツマンハウス鈴鹿の屋上を利用し、株式会社電律を事業主体として太陽光発電事業を実施し施設使用料を得た。

2. 法人運営

(1) 会議の開催

ア. 評議員会 2回

回数	期 日	場 所	審 議 事 項
1	27.6.23(火)	プラザ洞津 末広の間	1.平成26年度(公財)三重県体育協会事業報告及び財務諸表並びに監査報告について
2	28.3.18(金)	プラザ洞津 高砂の間	1.平成27年度(公財)三重県体育協会補正予算書について 2.平成28年度(公財)三重県体育協会事業計画及び収支予算書について 3.(公財)三重県体育協会新規加盟団体について

イ. 理事会 4回

回数	期 日	場 所	審 議 事 項
1	27.4.1(水)	書面表決	1.代表理事（会長）の選定の件 2.副会長選定の件 3.代表理事（理事長）の選定の件 4.副理事長の選定の件 5.常務理事の選定の件 6.名誉会長の選任の件 7.専門員委員会委員の選任の件
2	27.6.8(月)	プラザ洞津 孔雀の間	1.平成26年度（公財）三重県体育協会事業報告及び財務諸表並びに監査報告について 2.平成27年度国民体育大会等本部役員について
3	28.1.12(火)	プラザ洞津 末広の間	1.平成27年度（公財）三重県体育協会表彰被表彰者について 2.(公財)三重県体育協会臨時評議員会の招集
4	28.3.11(金)	プラザ洞津 末広の間	1.平成27年度(公財)三重県体育協会補正予算書について 2.平成28年度(公財)三重県体育協会事業計画及び収支予算書について 3.(公財)三重県体育協会新規加盟団体について 4.(公財)三重県体育協会諸規程の改正について 5.特定資産の積立について 6.施設管理事務所長の任用について 7.第76回国民体育大会開催申請について 8.(公財)三重県体育協会定時評議員会の招集について

(2) 財政の充実

- ア. 本協会の目的である「県民総スポーツ」の普及と競技人口拡大の実現に向け、三重県、三重県教育委員会、本協会加盟団体及び関係機関の協力を得て諸事業を推進するにあたり、財政面での安定した運営基盤を確立するため、保有資産の効率的で安全な運用に努めた。
基本財産の運用については、国債及び地方債を平均利率（年）約1.40%で行った。
- イ. 本協会が実施する諸事業に賛同された県内外企業等167団体（個人含む）からの賛助金として、3,210,000円、県内29市町から5,460,912円の協力を得た。また、相互連携しているスポーツ安全協会三重県支部から200,000円の広告協賛を得た。

(3) 広報

- ア. スポーツ活動の情報提供
本県スポーツの普及振興に資するため、各種大会で活躍した選手・チームの成績をインターネットにおいて発信し、啓発宣伝を行った。
- イ. 法人のディスクロージャー
公益法人としての社会責務を果たすため、インターネット上において財務諸表等の情報開示を行った。
- ウ. 各種報告書の刊行
本協会の事業に関わる冊子等を次のとおり作成・配布した。
・スポーツ医・科学MIE第23巻

第70回国民体育大会三重県選手団入賞一覧表

団体種目

順位	成 年 の 部			少 年 の 部		
1	サ ッ カ ー	女子 (伊賀FCくノ一)	監督 金 鐘達			
	弓 (遠 的)	成年女子 (全三重)	監督 北川 正明			
2				ソフトテニス	少年女子 (三重高校)	監督 垂髪 隆一
				ボウリング	少年男子 (津田学園高校)	監督 長田 陽介
4				アーチェリー	少年女子 (四日市四郷高校)	監督 古市 清
5	ハンドボール	成年男子 (全三重)	監督兼選手 大畑 俊輔	テニス	少年男子 (四日市工業高校)	監督 馬島 将人
	自転車競技 (チームスプリント)	男子 (全三重)	監督 待田 浩一 百々 敦史	バスケットボール	少年女子 (全三重)	監督 横山 俊幸
	柔 道	成年男子 (全三重)	監督 青木 伸司	ハンドボール	少年女子 (全三重)	監督 蛭川 健司
6	体 操	成年男子 (相好体操クラブ)	監督 齊藤 俊			
	フェンシング (エペ)	成年男子 (全三重)	監督兼選手 大野 幸太			
	ゴ ル フ	成年男子 (全三重)	監督 多賀 章子			
7	テ ニ ス	成年女子 (全三重)	監督 金山 敦思			

個人種目

順位	競 技 名	種 別	種 目	記 録	氏 名	所 属 <ふるさと登録>	監督氏名	所 属
1	陸 上 競 技	成年男子	走高跳	2m21	衛藤 昂	AGF鈴鹿県	山本 浩武 松越 一彦	松阪商業高校 鈴鹿工業高専
	陸 上 競 技	少年男子A	ハンマー投	62m51	村木 亮太	久居高校	山本 浩武 松越 一彦	松阪商業高校 鈴鹿工業高専
	水 泳 (競 泳)	少年男子B	ハタフライ100m	54秒43	阪本 祐也	三重高校	芝原 一平 八田 知宏	尾鷲高校 津田学園高校
	ウエイトリフティング	成年男子	62kg級スナッチ	119kg	坂 典泰	四日市工業高校	宮崎 彰也	四日市工業高校
	ウエイトリフティング	成年男子	62kg級クリーン&ジャーク	148kg	坂 典泰	四日市工業高校	宮崎 彰也	四日市工業高校
	ウエイトリフティング	少年男子	62kg級クリーン&ジャーク	137kg	小野 平伍	四日市工業高校	宮崎 彰也	四日市工業高校
	ウエイトリフティング	少年男子	85kg級スナッチ	127kg	柳川 友章	亀山高校	宮崎 彰也	四日市工業高校
	ウエイトリフティング	少年男子	+105kg級スナッチ	129kg	川村 正輝	四日市工業高校	宮崎 彰也	四日市工業高校
	ウエイトリフティング	少年男子	+105kg級クリーン&ジャーク	175kg	川村 正輝	四日市工業高校	宮崎 彰也	四日市工業高校
	馬 術	成年女子	馬場馬術	67.789	奥西 真弓	名張乗馬クラブ	中村 洋子	北勢ライディングファーム
	馬 術	成年女子	自由演技馬場馬術	72.800	奥西 真弓	名張乗馬クラブ	中村 洋子	北勢ライディングファーム
2	陸 上 競 技	成年女子	5000m	15分34秒21	尾西 美咲	積水化学工業㈱ 《宇治山田商業高校》	山本 浩武 松越 一彦	松阪商業高校 鈴鹿工業高専
	水 泳 (競 泳)	少年男子B	200m個人メドレー	2分5秒28	阪本 祐也	三重高校	芝原 一平 八田 知宏	尾鷲高校 津田学園高校
	水 泳 (競 泳)	成年男子	100m自由形	50秒01	荒木 優介	早稲田大学 《 暁高校 》	芝原 一平 八田 知宏	尾鷲高校 津田学園高校
	ボ ク シ ン グ	少年男子	ウェルター級		村上 仁	久居高校	片山 太郎	久居高校
	レ ス リ ン グ	成年男子	グレコローマンスタイル66kg級		川瀬 克洋	日本体育大学 《いなべ総合学園高校》	橋爪 幸彦	朝明高校
	レ ス リ ン グ	少年男子	グレコローマンスタイル60kg級		成國 大志	いなべ総合学園高校	藤波 俊一	いなべ総合学園高校
	ウエイトリフティング	少年男子	62kg級スナッチ	100kg	小野 平伍	四日市工業高校	宮崎 彰也	四日市工業高校
	ウエイトリフティング	少年男子	85kg級クリーン&ジャーク	142kg	柳川 友章	亀山高校	宮崎 彰也	四日市工業高校
	馬 術	成年男子	ゲート	1分58秒70	中村 勇	北勢ライディングファーム	中村 洋子	北勢ライディングファーム
	空 手 道	成年男子	組手重量級		山下 僚也	帝京大学 《 四日市市立塩浜中学校 》	奈須 和光	和接骨院
3	陸 上 競 技	少年男子B	砲丸投	16m14	別所 竜守	松阪商業高校	山本 浩武 松越 一彦	松阪商業高校 鈴鹿工業高専
	ボ ク シ ン グ	少年男子	ライトウェルター級		山辺 蓮	久居農林高校	片山 太郎	久居高校
	レ ス リ ン グ	少年男子	フリースタイル66kg級		基山仁太郎	いなべ総合学園高校	藤波 俊一	いなべ総合学園高校
	レ ス リ ン グ	少年男子	フリースタイル84kg級		横山 凛太郎	いなべ総合学園高校	藤波 俊一	いなべ総合学園高校
	セ ー リ ン グ	成年男子	レーザー級	19点	南里 研二	(公財)三重県体育協会	杉谷 典明	本田技研工業㈱鈴鹿製作所
4	陸 上 競 技	成年女子	100m	11秒81	世古 和	乗馬クラブイン 《 宇治山田商業高校 》	山本 浩武 松越 一彦	松阪商業高校 鈴鹿工業高専
	水 泳 (飛 込)	成年男子	高飛込	421.00点	村上 和基	(公財)三重県体育協会	池田 庸祐	稲生高校
	ボ ー ト	成年男子	シングルスカル	3分46秒51	清水 大輔	中部電力(株) 《 津高校 》	伊藤 大輔	相可高校
	馬 術	成年男子	国体総合馬術		中村 勇	北勢ライディングファーム	中村 洋子	北勢ライディングファーム
5	レ ス リ ン グ	成年男子	フリースタイル57kg級		藤田 雄大	青山学院大学 《 いなべ総合学園高校 》	橋爪 幸彦	朝明高校
	レ ス リ ン グ	成年男子	グレコローマンスタイル130kg級		河野 隆太	鈴鹿大学	橋爪 幸彦	朝明高校
	レ ス リ ン グ	少年男子	グレコローマンスタイル55kg級		丸山 正太郎	いなべ総合学園高校	藤波 俊一	いなべ総合学園高校
	セ ー リ ン グ	少年女子	レーザー級	31点	新田 そら	高田高校	伊藤 秀郎	津工業高校
	ウエイトリフティング	成年男子	94kg級クリーン&ジャーク	175kg	太田 悠斗	九州国際大学 《 四日市工業高校 》	宮崎 彰也	四日市工業高校
	ボ ウ リ ン グ	少年女子	個人戦	合計1816点	坂倉 凜	津田学園高校	鈴木 隆博	三重県ボウリング連盟
6	陸 上 競 技	成年男子	砲丸投	16m71	村上 輝	国士舘大学 《 南伊勢高校校友会校舎 》	山本 浩武 松越 一彦	松阪商業高校 鈴鹿工業高専
	陸 上 競 技	成年男子	100m	10秒46	諏訪 達郎	中央大学 《 四日市工業高校 》	山本 浩武 松越 一彦	松阪商業高校 鈴鹿工業高専
	陸 上 競 技	成年男子	やり投	71m80	中西 啄真	大阪体育大学 《 伊勢工業高校 》	山本 浩武 松越 一彦	松阪商業高校 鈴鹿工業高専
	水 泳 (飛 込)	成年男子	飛板飛込	395.15点	村上 和基	(公財)三重県体育協会	池田 庸祐	稲生高校
7	陸 上 競 技	少年女子A	ハンマー投	47m17	濱田 恵里奈	松阪商業高校	山本 浩武 松越 一彦	松阪商業高校 鈴鹿工業高専
	水 泳 (競 泳)	成年女子	100m自由形	56秒09	田尾 優里香	日本体育大学 《 津田学園高校 》	芝原 一平 八田 知宏	尾鷲高校 津田学園高校
	水 泳 (競 泳)	少年男子A	800mリレー	7分41秒18	川口 恭矢、菊池 泰雅 山本 健志、松下 健太	津田学園高校、尾鷲高校 尾鷲高校、海星高校	芝原 一平 八田 知宏	尾鷲高校 津田学園高校
	水 泳 (競 泳)	少年女子B	100m平泳ぎ	1分11秒81	石田 紅葉	津市立一志中学校	芝原 一平 八田 知宏	尾鷲高校 津田学園高校
8	陸 上 競 技	成年女子	やり投	51m87	坂倉 杏奈	鹿屋体育大学 《 四日市四郷高校 》	山本 浩武 松越 一彦	松阪商業高校 鈴鹿工業高専
	自 転 車 競 技	成年男子	個人ロードレース	3時間43分34秒	阿曾 圭佑	㈱キナン 《 暁高校 》	待田 浩一	㈱デンソー
	自 転 車 競 技	成年男子	1kmタイムトライアル	1分7秒087	皿屋 豊	伊勢市役所	待田 浩一	㈱デンソー

平成27年度(公財)三重県体育協会表彰被表彰者・被表彰チーム名簿
(表彰対象期間:H27.1.1~H27.12.31)

体育功労者賞(表彰規程第2条第1号関係)

No.	役員	名前	ふりがな	年齢	性別	功績	在任期間(年度)	備考
1	三重県体育協会 元理事	相馬 弘宗	そうま・ひろむね	68	男	平成18年度から平成24年度での3期・7年を本協会理事として務め、本協会の運営に貢献された。	理事:平成18年度~平成24年度	第2条第1号7

特別優秀選手賞(表彰規程第2条第3号関係)

No.	競技名	名前	ふりがな	年齢	性別	所属	大会名・種目	成績	開催期間	開催地	該当規程条項	備考
1	陸上競技	諏訪 達郎	すわ・たつろう	21	男	日本 (中央大学 3年)	第28回ユニバーシアード競技大会 陸上競技 男子 4×100mR	優勝	平成27年7月8日 ～ 平成27年7月12日	韓国	第2条3号イ	国際大会 3位以内入賞
2	サッカー	杉田 亜未	すぎた・あみ	24	女	日本 (伊賀フットボールクラブくノ一)	EAFF女子東アジアカップ2015決勝大会	3位	平成27年8月1日 ～ 平成27年8月9日	中国	第2条3号イ	国際大会 3位以内入賞
3	レスリング	河野 隆太	こうの・りゅうた	28	男	鈴鹿大学	第32回 全国社会人オープンレスリング選手権大会 男子の部 グレコローマンスタイル130kg級	優勝	平成27年11月22日	神奈川県	第2条3号ア	3年連続
4	レスリング	太田 匠海	おおた・たくみ	12	男	四日市ジュニアレスリングクラブ (四日市市立桜台小学校 6年)	第19回 全国少年少女選抜レスリング選手権大会 6年の部 54kg級	優勝	平成27年3月14日 ～ 平成27年3月15日	岐阜県	第2条3号ア	3年連続
5	レスリング	弓矢 紗希	ゆみや・さき	10	女	いなべレスリングクラブ (いなべ市立石樽小学校 4年)	第19回 全国少年少女選抜レスリング選手権大会 女子4年の部 26kg級	優勝	平成27年3月14日 ～ 平成27年3月15日	岐阜県	第2条3号ア	3年連続
6	レスリング	吉田千沙都	よしだ・ちさと	8	女	一志ジュニアレスリング教室 (津市立大三小学校 3年)	平成27年度ジュニアクイーンズカップ レスリング選手権大会 小学生3・4年の部 26kg級	優勝	平成27年4月4日 ～ 平成27年4月5日	京都府	第2条3号ア	3年連続
7	山岳	渡部 桂太	わたべ・けいた	22	男	Mie Climbers Association	アジア選手権大会2015中国・寧波大会 クライミング競技 男子 ボルダリング	2位	平成27年11月20日 ～ 平成27年11月22日	中国	第2条3号イ	国際大会 3位以内入賞
8	パワーリフティング	辻 紀子	つじ・のりこ	50	女	日本 (三重県パワーリフティング協会)	第2回マスターズ女子 世界クラシックパワーリフティング選手権大会 マスターズ2	優勝	平成27年6月5日 ～ 平成27年6月14日	フィンランド	第2条3号イ	国際大会 3位以内入賞

優秀選手賞(表彰規程第2条第2号関係)

※=特別優秀選手受賞済者

No.	競技名	名前	ふりがな	年齢	性別	所属	大会名・種目	成績	開催期間	開催地	該当規程条項	備考
1	水泳	村上 和基	むらかみ・かずき	26	男	日本 (JSS白子・(公財)三重県体育協会)	第6回アジアダイビングカップ 男子高飛込	出場	平成27年9月5日 ～ 平成27年9月6日	マレーシア	第2条2号イ	
2	水泳	阪本 祐也	さかもと・ゆうや	15	男	三重高校 1年 (大紀スイミングクラブ)	第38回全国JOCジュニアオリンピックカップ夏季水泳競技大会 15～16歳 男子 100m バタフライ	優勝	平成27年8月22日 ～ 平成27年8月26日	東京都	第2条2号ア	※平成26年度 第70国民体育大会優勝
3	水泳	野呂さくら	のろ・さくら	13	女	日本 (みえシンクロ)	チェコクリスマスブライズ2015	2位	平成27年12月4日 ～ 平成27年12月6日	チェコ	第2条2号イ	
4	セーリング	南里 研二	なんり・けんじ	23	男	(公財)三重県体育協会	2015年 Laser All Japan Championships Standard	優勝	平成27年10月31日 ～ 平成27年11月3日	三重県	第2条2号ア	
5	ボウリング	中村 謙	なかむら・けん	65	男	日本 (三重県ボウリング連盟・鈴鹿結クラブ)	世界シニアボウリング選手権大会2015	出場	平成27年8月23日 ～ 平成27年8月30日	アメリカ	第2条2号イ	個人戦、2人チーム戦 4人チーム戦、マスターズ戦
6	ボウリング	吉川 朋子	よしかわ・ともこ	61	女	三重県ボウリング連盟 (コンドルクラブ)	第28回オールジャパンレディスボウリングトーナメント シニアの部 個人戦	優勝	平成27年6月5日 ～ 平成27年6月7日	埼玉県	第2条2号ア	※平成25年度
7	ボウリング	堀田 恵子	ほった・けいこ	22	女	京都産業大学 4年	第53回全日本大学ボウリング選手権大会 女子2人チーム戦	優勝	平成27年11月21日 ～ 平成27年11月23日	京都府	第2条2号ア	
8	陸上競技	山下 洸	やました・みなと	27	男	日本 (NTN)	デカネーション2015 男子 3000m障害	出場	平成27年9月13日	フランス	第2条2号イ	第63回全日本実業団対抗 陸上競技選手権大会 優勝
9	陸上競技	衛藤 昂	えとう たかし	24	男	日本 (AGF)	第15回世界陸上競技選手権大会 男子 走高跳	出場	平成27年8月28日	中国	第2条2号イ	※平成21年度 第21回アジア選手権出場 国民体育大会優勝
10	陸上競技	東 魁輝	あずま・かいき	21	男	岐阜経済大学 4年	2015日本学生陸上競技個人選手権大会 男子 400m	優勝	平成27年6月14日	神奈川県	第2条2号ア	
11	陸上競技	清水 剛士	しみず・つよし	21	男	中京大学 4年	第84回日本学生陸上競技対校選手権大会 男子 十種競技	優勝	平成27年9月11日 ～ 平成27年9月13日	大阪府	第2条2号ア	
12	陸上競技	中西 啄真	なかにし・たくま	21	男	大阪体育大学 3年	2015日本学生陸上競技個人選手権大会 男子 やり投	優勝	平成27年6月12日	神奈川県	第2条2号ア	第84回日本学生陸上競技 対抗選手権 優勝
13	陸上競技	藤田 尊大	ふじた・たかひろ	20	男	鈴鹿工業高専 5年	第50回全国高等専門学校体育大会 陸上競技 男子 400m	優勝	平成27年8月30日	福岡県	第2条2号ア	
14	陸上競技	村上 輝	むらかみ・ひかる	19	男	国士舘大学 2年	2015日本学生陸上競技個人選手権大会 男子 砲丸投	優勝	平成27年6月14日	神奈川県	第2条2号ア	
15	陸上競技	川畑 夏唯	かわはた・かい	19	男	近畿大学工業高専 4年	第31回日本ジュニア陸上競技選手権大会(混成競技) ジュニア男子十種競技	優勝	平成27年7月4日 ～ 平成27年7月5日	長野県	第2条2号ア	
16	陸上競技	保坂 翔也	ほさか・しょうや	18	男	鈴鹿工業高専 4年	第50回全国高等専門学校体育大会 陸上競技 男子 走幅跳・三段跳	優勝	平成27年8月29日 ～ 平成27年8月30日	福岡県	第2条2号ア	
17	陸上競技	高島 由香	たかしま・ゆか	27	女	日本 (デンソー)	第15回世界陸上競技選手権大会 女子 10000m	出場	平成27年8月24日	中国	第2条2号イ	
18	陸上競技	高見澤安珠	たかみざわ・あんじゅ	19	女	日本 (松山大学 2年)	デカネーション2015 女子 3000m障害	出場	平成27年9月13日	フランス	第2条2号イ	第99回日本選手権 日本学生陸上競技個人選 手権大会 優勝
19	陸上競技	下 史典	しも・ふみのり	18	男	日本 (伊賀白鳳高校 3年)	第41回世界クロスカントリー選手権大会 ジュニア男子8km	出場	平成27年3月28日	中国	第2条2号イ	
20	陸上競技	村木 亮太	むらき・りょうた	18	男	久居高校 3年	平成27年全国高等学校総合体育大会 陸上競技 男子 ハンマー投	優勝	平成27年7月29日	和歌山県	第2条2号ア	

No.	競技名	名前	ふりがな	年齢	性別	所属	大会名・種目	成績	開催期間	開催地	該当規程条項	備考
21	テニス	藤堂 毅	とうどう・つよし	71	男	城北MT倶楽部	第77回全日本ベテランテニス選手権'15 男子70歳以上シングルス	優勝	平成27年9月26日 ～ 平成27年10月7日	愛知県	第2条2号ア	
22	テニス	山村 豊彦	やまむら・とよひこ	48	男	みさとテニスクラブ	第77回全日本ベテランテニス選手権'15 男子45歳以上シングルス	優勝	平成27年9月26日 ～ 平成27年10月7日	愛知県	第2条2号ア	
23	テニス	井上 玄意	いのうえ・げんい	12	男	津市立桃園小学校 6年	第33回第一生命全国小学校テニス選手権大会 男子シングルス	優勝	平成27年7月28日 ～ 平成27年7月30日	東京都	第2条2号ア	
24	体操	佐藤 亘	さとう・わたる	25	男	相好体操クラブ	2015第48回全日本シニア体操競技選手権大会 男子1部 あん馬	優勝	平成27年9月20日	福井県	第2条2号ア	
25	体操	堀 孝輔	ほり・こうすけ	16	男	高田高校 2年	平成27年度全国高等学校総合体育大会 体操競技・新体操大会 男子 個人総合・スティック	優勝	平成27年8月7日 ～ 平成27年8月8日	大阪府	第2条2号ア	
26	レスリング	高橋 侑希	たかはし・ゆうき	22	男	山梨学院大学 4年	明治杯 平成27年度全日本選抜レスリング選手権大会 フリースタイル 57kg級	優勝	平成27年6月19日 ～ 平成27年6月21日	東京都	第2条2号ア	※平成21年度 世界選手権9位 シオルコフスキ国際大会優勝 全国日本大学選手権優勝
27	レスリング	藤波 勇飛	ふじなみ・ゆうひ	19	男	日本 (山梨学院大学 1年)	2015世界ジュニアレスリング選手権大会 男子フリースタイル 66kg級	2位	平成27年8月11日 ～ 平成27年8月16日	ブラジル	第2条3号イ	※平成17年度 全日本ジュニア選手権優勝
28	レスリング	伊藤 彩香	いとう・あやか	22	女	日本 (東新住建株式会社)	2015ビルファーレル国際大会 レスリング競技 女子63kg級	優勝	平成27年11月6日 ～ 平成27年11月7日	アメリカ	第2条3号イ	※平成26年度
29	レスリング	土性 沙羅	どしょう・さら	21	女	日本 (至学館大学 3年)	2015世界レスリング選手権大会 女子69kg級	3位	平成27年9月9日 ～ 平成27年9月11日	アメリカ	第2条3号イ	※平成18年度 全日本選抜選手権大会優勝
30	レスリング	奥野 里菜	おくの・りな	20	女	日本 (至学館大学 2年)	2015世界ジュニアレスリング選手権大会 女子44kg級	2位	平成27年8月11日 ～ 平成27年8月16日	ブラジル	第2条3号イ	※平成17年度 ジュニアクイーンズカップ優勝
31	レスリング	藤田 雄大	ふじた・ゆうだい	18	男	日本 (いなべ総合学園高校 3年)	ペトロ・シラコフ&イバン・イリエフ国際大会 男子フリースタイル 57kg級	3位	平成27年3月7日 ～ 平成27年3月8日	ブルガリア	第2条2号イ	アジアジュニア選手権7位
32	レスリング	成國 大志	なりくに・たいし	18	男	いなべ総合学園高校 3年	平成27年度全国高等学校総合体育大会 レスリング競技 男子個人対抗戦 60kg級	優勝	平成27年8月2日 ～ 平成27年8月5日	京都府	第2条2号ア	※平成26年度 全国高校選抜大会優勝
33	レスリング	基山仁太郎	もとやま・じんたろう	16	男	日本 (いなべ総合学園高校 1年)	2015年世界カデットレスリング選手権大会 男子フリースタイル 58kg級	2位	平成27年8月29日 ～ 平成27年8月30日	ボスニアヘル ツェゴビナ	第2条3号イ	※平成19年度 全日本ジュニア選手権優勝
34	レスリング	小川 琉生	おがわ・りゅうせい	13	男	四日市ジュニアレスリングクラブ (四日市市立日永小学校 6年)	第19回全国少年少女選抜レスリング選手権大会 6年生の部 42kg級	優勝	平成27年3月14日 ～ 平成27年3月15日	岐阜県	第2条2号ア	
35	レスリング	高塚 晴成	たかつか・はるな	12	男	四日市ジュニアレスリングクラブ (四日市市立常盤西小学校 6年)	第19回全国少年少女選抜レスリング選手権大会 6年生の部 36kg級	優勝	平成27年3月14日 ～ 平成27年3月15日	岐阜県	第2条2号ア	
36	レスリング	弓矢 健人	ゆみや・けん	12	男	いなべレスリングクラブ (いなべ市立石樽小学校 6年)	平成27年度第32回全国少年少女レスリング選手権大会 小学生の部 6年生 39kg級	優勝	平成27年7月24日 ～ 平成27年7月26日	東京都	第2条2号ア	
37	レスリング	向田 旭登	むかいだ・あきと	11	男	四日市ジュニアレスリングクラブ (四日市市立泊小学校 6年)	平成27年度第32回全国少年少女レスリング選手権大会 小学生の部 6年生 30kg級	優勝	平成27年7月24日 ～ 平成27年7月26日	東京都	第2条2号ア	
38	レスリング	中野 連志	なかの・れんじ	10	男	いなべレスリングクラブ (東員町立神田小学校 4年)	第19回全国少年少女選抜レスリング選手権大会 4年生の部 33kg級	優勝	平成27年3月14日 ～ 平成27年3月15日	岐阜県	第2条2号ア	
39	レスリング	向田 真優	むかいだ・まゆ	18	女	日本 (JOCエリートアカデミー・安部学院高校 3年)	2015年アジアジュニアレスリング選手権大会 女子 55kg級	優勝	平成27年7月9日 ～ 平成27年7月12日	ミャンマー	第2条3号イ	※平成20年度
40	レスリング	奥野 春菜	おくの・はるな	16	女	日本 (久居高校 2年)	2015年アジアカデットレスリング選手権大会 女子の部 52kg級	優勝	平成27年6月11日 ～ 平成27年6月14日	インド	第2条3号イ	※平成20年度 高校総体、全日本ジュニア選 手権、全日本女子オープン、ク リッパン女子国際大会優勝

No.	競技名	名前	ふりがな	年齢	性別	所属	大会名・種目	成績	開催期間	開催地	該当規程条項	備考
41	レスリング	稲垣 柚香	いながき・ゆずか	14	女	一志ジュニアレスリング教室 (津市立一志中学校 2年)	平成27年度 東京都知事杯 第6回全国中学選抜レスリング選手権大会 女子の部 44kg級	優勝	平成27年11月29日	東京都	第2条2号ア	※平成25年度
42	レスリング	山本 和佳	やまもと・のどか	13	女	一志ジュニアレスリング教室 (津市立一志中学校 1年)	平成27年度 第41回全国中学生レスリング選手権大会 女子の部 70kg級	優勝	平成27年6月13日 ～ 平成27年6月14日	茨城県	第2条2号ア	全国中学選抜選手権大会 優勝
43	レスリング	中井ほのか	なかい・ほのか	12	女	一志ジュニアレスリング教室 (津市立一志中学校 1年)	平成27年度ジュニアクイーンズカップレスリング選手権大会 中学生の部 57kg級	優勝	平成27年4月4日 ～ 平成27年4月5日	京都府	第2条2号ア	全国中学選抜選手権大会 優勝
44	レスリング	中西 美結	なかにし・みゆ	12	女	一志ジュニアレスリング教室 (松阪市立西中学校 1年)	平成27年度ジュニアクイーンズカップレスリング選手権大会 中学生の部 30kg級	優勝	平成27年4月4日 ～ 平成27年4月5日	京都府	第2条2号ア	全国少年少女選抜大会 優勝
45	レスリング	藤波 朱理	ふじなみ・あかり	12	女	いなベレスリングクラブ (四日市市立下野小学校 6年)	平成27年度第32回全国少年少女レスリング選手権大会 女子の部 6年生 36kg級	優勝	平成27年7月24日 ～ 平成27年7月26日	東京都	第2条2号ア	※平成25年度 全国少年少女選抜、ジュニア クイーンズカップ、全日 本女子オープン優勝
46	レスリング	眞柄 美和	まがら・みわ	11	女	四日市ジュニアレスリングクラブ (四日市市立常盤西小学校 5年)	平成27年度第32回全国少年少女レスリング選手権大会 女子の部 5年生 27kg級	優勝	平成27年7月24日 ～ 平成27年7月26日	東京都	第2条2号ア	
47	レスリング	稲垣 和	いながき・のどか	11	女	四日市ジュニアレスリングクラブ (四日市市立大矢知興譲小学校 4年)	第19回全国少年少女選抜レスリング選手権大会 女子4年生の部 28kg級	優勝	平成27年3月14日 ～ 平成27年3月15日	岐阜県	第2条2号ア	※平成26年度
48	レスリング	森川 晴風	もりかわ・はるな	11	女	一志ジュニアレスリング教室 (津市立一志西小学校 5年)	平成27年度第32回全国少年少女レスリング選手権大会 女子の部 5年生 36kg級	優勝	平成27年7月24日 ～ 平成27年7月26日	東京都	第2条2号ア	
49	レスリング	川村 百花	かわむら・ももか	10	女	四日市ジュニアレスリングクラブ (四日市市立高花平小学校 4年)	平成27年度第32回全国少年少女レスリング選手権大会 女子の部 4年生 26kg級	優勝	平成27年7月24日 ～ 平成27年7月26日	東京都	第2条2号ア	
50	レスリング	吉田七名海	よしだ・ななみ	9	女	一志ジュニアレスリング教室 (津市立一志西小学校 3年)	平成27年度第32回全国少年少女レスリング選手権大会 女子の部 3年生 22kg級	優勝	平成27年7月24日 ～ 平成27年7月26日	東京都	第2条2号ア	
51	レスリング	小川 凜佳	おがわりんか	9	女	四日市ジュニアレスリングクラブ (四日市市立日永小学校 3年)	平成27年度第32回全国少年少女レスリング選手権大会 女子の部 3年生 24kg級	優勝	平成27年7月24日 ～ 平成27年7月26日	東京都	第2条2号ア	
52	ウエイトリフティング	坂 典泰	ばん・のりやす	27	男	四日市工業高校	第70回国民体育大会 ウエイトリフティング競技 成年男子 62kg級 スナッチ クリーン&ジャーク	優勝	平成27年9月27日	和歌山県	第2条2号ア	※平成25年度
53	ウエイトリフティング	小野 平伍	おの・ひょうご	18	男	四日市工業高校 3年	平成27年度全国高等学校総合体育大会 ウエイトリフティング競技 62kg級	優勝	平成27年8月2日	兵庫県	第2条2号ア	
54	ウエイトリフティング	古屋敷拓也	こやしき・たくや	17	男	四日市工業高校 3年	平成27年度全国高等学校総合体育大会 ウエイトリフティング競技 56kg級 クリーン&ジャーク	優勝	平成27年8月3日	兵庫県	第2条2号ア	
55	ウエイトリフティング	川村 正輝	かわむら・まさき	17	男	四日市工業高校 3年	平成27年度全国高等学校総合体育大会 ウエイトリフティング競技 +105kg級	優勝	平成27年8月5日	兵庫県	第2条2号ア	
56	ウエイトリフティング	柳川 友章	やながわ・ともあき	17	男	亀山高校 2年	平成27年度全国高等学校総合体育大会 ウエイトリフティング競技 85kg級	優勝	平成27年8月4日	兵庫県	第2条2号ア	
57	ウエイトリフティング	石井 未来	いしい・みく	16	女	亀山高校 2年	第35回全日本ジュニアウエイトリフティング選手権大会 女子63kg級	優勝	平成27年3月14日	東京都	第2条2号ア	
58	ソフトテニス	吉田 雄城	よしだ・ゆうき	20	男	近畿大学工業高専 5年	第50回全国高等専門学校体育大会 ソフトテニス競技 男子ダブルス	優勝	平成27年8月26日 ～ 平成27年8月27日	宮崎県	第2条2号ア	
59	ソフトテニス	加藤 駿介	かとう・しゅんすけ	18	男	近畿大学工業高専 4年	第50回全国高等専門学校体育大会 ソフトテニス競技 男子ダブルス	優勝	平成27年8月26日 ～ 平成27年8月27日	宮崎県	第2条2号ア	
60	ソフトテニス	内田 理久	うちだ・りく	17	男	三重高校 2年	第10回ソフトテニスジュニアジャパンカップ U-17男子シングルス	優勝	平成27年11月14日 ～ 平成27年11月15日	宮崎県	第2条2号ア	

No.	競技名	名前	ふりがな	年齢	性別	所属	大会名・種目	成績	開催期間	開催地	該当規程条項	備考
61	馬術	奥西 真弓	おくにし・まゆみ	32	女	名張乗馬クラブ	第70回国民体育大会 馬術競技 成年女子 馬場馬術・自由演技馬場馬術	優勝	平成27年10月1日 ～ 平成27年10月5日	兵庫県	第2条2号ア	※平成26年度
62	フェンシング	大山 聖人	おおやま・せいと	21	男	日本大学 4年	第68回全日本フェンシング選手権大会 男子エペ団体戦	優勝	平成27年12月13日 ～ 平成27年12月16日	岩手県	第2条2号ア	
63	フェンシング	山田 優	やまだ・まさる	21	男	日本 (日本大学 3年)	2015 世界選手権大会 フェンシング競技 男子エペ	出場	平成27年7月13日 ～ 平成27年7月19日	ロシア	第2条2号イ	※平成25年度
64	フェンシング	山田あゆみ	やまだ・あゆみ	23	女	日本 (城北信用金庫)	2015 世界選手権大会 フェンシング競技 女子エペ	出場	平成27年7月13日 ～ 平成27年7月19日	ロシア	第2条2号イ	※平成25年度
65	柔道	戌亥 佑介	いぬい・ゆうすけ	17	男	近畿大学工業高専 3年	第50回全国高等専門学校体育大会 柔道競技 男子90kg級	優勝	平成27年8月23日	宮崎県	第2条2号ア	
66	弓道	奥野 瞬	おくの・しゅん	17	男	尾鷲高校 2年	第34回全国高等学校弓道選抜大会 男子個人の部	優勝	平成27年12月24日 ～ 平成27年12月26日	栃木県	第2条2号ア	
67	剣道	和田 優人	わだ・ゆうと	15	男	正平館剣道スポーツ少年団	第37回全国スポーツ少年団剣道交流大会 中学生男子個人	優勝	平成27年3月27日 ～ 平成27年3月29日	埼玉県	第2条2号ア	
68	山岳	田嶋あいか	たじま・あいか	15	女	津高校 2年	第18回JOCジュニアオリンピックカップ大会 リード 女子 ユースA	優勝	平成27年8月14日 ～ 平成27年8月16日	富山県	第2条2号ア	※平成24年度
69	なぎなた	田中 康介	たなか・こうすけ	32	男	日本 (あけぼの学園高校)	第6回世界なぎなた選手権大会 男子 個人・団体	優勝	平成27年6月20日	カナダ	第2条3号イ	※平成19年度
70	日本拳法	岡本 敦美	おかもと・あつみ	18	女	藤ノ花女子高校 3年	第21回全日本拳法高校女子個人選手権大会	優勝	平成27年9月20日	大阪府	第2条2号ア	
71	日本拳法	速水 源	はやみ・げん	8	男	日本拳法教心館 (松阪市立第一小学校 2年)	第33回全日本拳法少年個人選手権大会 小学2年男子の部	優勝	平成27年9月20日	大阪府	第2条2号ア	

特別優秀監督賞(表彰規程第2条第3号関係)

No.	競技名	名前	ふりがな	年齢	性別	所属	大会名・種目	成績	開催期間	開催地	該当規程条項	備考
1	水泳	中井 克樹	なかい・かつき	25	男	大紀スイミングクラブ	第38回 全国JOCジュニアオリンピックカップ夏季水泳競技大会 15～16歳 男子 100m バタフライ	優勝者の監督	平成27年8月22日 ～ 平成27年8月26日	東京都	第2条3号ア	3年連続 優秀選手 阪本選手の監督
2	レスリング	箕浦 健太	みのうら・けんた	25	男	久居高校	平成27年度全国高等学校総合体育大会 レスリング競技 女子個人対抗戦 52kg級	優勝者の監督	平成27年8月3日 ～ 平成27年8月4日	京都府	第2条3号ア	3年連続 優秀選手 奥野選手の監督

優秀監督賞(表彰規程第2条第2号関係)

※＝特別優秀監督賞受賞者

No.	競技名	名前	ふりがな	年齢	性別	所属	大会名・種目	成績	開催期間	開催地	該当規程条項	備考
1	水泳	鈴木 美保	すずき・みほ	39	女	日本 (みえシンクロ)	チェコクリスマスブライズ2015	国際大会入賞者の監督	平成27年12月4日 ～ 平成27年12月6日	チェコ	第2条2号イ	日本代表監督 優秀選手 野呂選手の監督
2	陸上競技	船越 一彦	ふなこし・かずひこ	51	男	鈴鹿工業高専	第70回国民体育大会 陸上競技 成年男子 走高跳	優勝者の監督	平成27年10月3日	和歌山県	第2条2号ア	優秀選手 衛藤選手の監督
3	陸上競技	松本 基之	まつもと・もとゆき	50	男	久居高校	平成27年全国高等学校総合体育大会 陸上競技 男子 ハンマー投	優勝者の監督	平成27年7月29日	和歌山県	第2条2号ア	優秀選手 村木選手の監督
4	陸上競技	松尾 大介	まつお・だいすけ	39	男	近畿大学工業高専	第31回日本ジュニア陸上競技選手権大会(混成競技) ジュニア男子十種競技	優勝者の監督	平成27年7月4日 ～ 平成27年7月5日	長野県	第2条2号ア	優秀選手 川畑選手の監督
5	体操	安達 俊亨	あだち・としゆき	36	男	相好体操クラブ	2015第48回全日本シニア体操競技選手権大会 男子1部 あん馬	優勝者の監督	平成27年9月20日	福井県	第2条2号ア	優秀選手 佐藤選手の監督
6	体操	山崎 和俊	やまざき・かずとし	34	男	高田高校	平成27年度全国高等学校総合体育大会 体操競技・新体操大会 男子 個人総合・スティック	優勝者の監督	平成27年8月7日 ～ 平成27年8月8日	大阪府	第2条2号ア	優秀選手 堀選手の監督
7	レスリング	宇野 勝彦	うの・かつひこ	63	男	四日市ジュニアレスリングクラブ	第19回全国少年少女選抜レスリング選手権大会 女子4年の部 28kg級	優勝者の監督	平成27年3月14日 ～ 平成27年3月15日	岐阜県	第2条2号ア	優秀選手 稲垣選手の監督
8	レスリング	藤波 俊一	ふじなみ・としかず	51	男	いなべ総合学園高校	JOCジュニアオリンピックカップ 2015年度全日本ジュニアレスリング選手権大会 男子カデットの部 フリースタイル 58kg級	優勝者の監督	平成27年4月25日 ～ 平成27年4月26日	神奈川県	第2条2号ア	優秀選手 基山選手の監督 ※平成21年度
9	レスリング	弓矢 完二	ゆみや・かんじ	40	男	いなべレスリングクラブ	第19回全国少年少女選抜レスリング選手権大会 女子4年の部 26kg級	優勝者の監督	平成27年3月14日 ～ 平成27年3月15日	岐阜県	第2条2号ア	※平成26年度 特別優秀選手 弓矢選手他の監督
10	レスリング	吉田 栄利	よしだ・ひでとし	35	男	一志ジュニアレスリング教室	第41回全国中学生レスリング選手権大会 女子の部 70kg級	優勝者の監督	平成27年6月13日 ～ 平成27年6月14日	茨城県	第2条2号ア	優秀選手 山本選手の監督
11	ウエイトリフティング	宮崎 彰也	みやざき・あきなり	51	男	四日市工業高校	平成27年度全国高等学校総合体育大会 ウエイトリフティング競技 56kg級C&J、62kg級、+105kg級	優勝者の監督	平成27年8月1日 ～ 平成27年8月5日	兵庫県	第2条2号ア	優秀選手 小野選手・古屋敷選手・川村選手の監督
12	ウエイトリフティング	石井 伸子	いしい・のぶこ	42	女	亀山高校	第35回全日本ジュニアウエイトリフティング選手権大会 女子63kg級	優勝者の監督	平成27年3月14日	東京都	第2条2号ア	優秀選手 石井選手の監督
13	ソフトテニス	齋藤 彰	さいとう・あきら	40	男	近畿大学工業高専	第50回全国高等専門学校体育大会 ソフトテニス競技 男子ダブルス	優勝者の監督	平成27年8月26日 ～ 平成27年8月27日	宮崎県	第2条2号ア	優秀選手 吉田選手・加藤選手の監督 ※平成19年度
14	剣道	井上美奈子	いのうえ・みなこ	49	女	鈴鹿赤銅スポーツ少年団	第37回全国スポーツ少年団剣道交流大会 中学生男子個人	優勝者の監督	平成27年3月27日 ～ 平成27年3月29日	埼玉県	第2条2号ア	

特別優秀チーム賞(表彰規程第2条第3号関係)

No.	競技名	チーム名	大会名	成績	開催期間	開催地	該当規程条項	備考 (名簿別紙)
1	陸上競技	デンソー	第35回全日本実業団対抗女子駅伝競走大会	優勝	平成27年12月13日	宮城県	第2条3号ア	3年連続 監督1名 選手6名

優秀チーム賞(表彰規程第2条第2号関係)

※=特別優秀チーム受賞済団体

No.	競技名	チーム名	大会名	成績	開催期間	開催地	該当規程条項	備考
1	サッカー	伊賀フットボールクラブくノ一	第70回国民体育大会 サッカー競技 女子	優勝	平成27年9月28日 ～ 平成27年10月1日	和歌山県	第2条2号ア	監督1名 選手15名
2	テニス	四日市工業高等学校 テニス部	第37回全国選抜高校テニス大会 男子団体戦	優勝	平成27年3月22日 ～ 平成27年3月26日	福岡県	第2条2号ア	監督1名 選手9名
3	ウエイトリフティング	四日市工業高等学校 ウエイトリフティング部	平成27年度全国高等学校総合体育大会 ウエイトリフティング競技 学校対抗	優勝	平成27年8月1日 ～ 平成27年8月5日	兵庫県	第2条2号ア	監督1名 選手5名
4	ソフトテニス	三重高等学校 男子ソフトテニス部	第40回全日本高等学校選抜ソフトテニス大会 男子団体戦	優勝	平成27年3月28日 ～ 平成27年3月30日	愛知県	第2条2号ア	監督1名 選手8名
5	ソフトテニス	近畿大学工業高等専門学校 男子ソフトテニス部	第50回全国高等専門学校体育大会 ソフトテニス競技 男子団体戦	優勝	平成27年8月26日 ～ 平成27年8月27日	宮崎県	第2条2号ア	監督1名 選手8名
6	弓道	三重県成年女子	第70回国民体育大会 弓道競技 成年女子 遠的	優勝	平成27年9月27日 ～ 平成27年9月30日	和歌山県	第2条2号ア	監督1名 選手3名

スポーツ優良団体賞(表彰規程第2条第4号関係)

No.	団体名	功績	該当規程条項	備考
1	東芝山岳会 三重支部	地域の小学校が実施する自然教室の一環である登山教室の支援活動や、高校山岳部の競技大会や登山合宿(夏山・冬山)の支援活動、三重県山岳連盟の主管行事への参画と安全登山の啓蒙活動の実績があり、団体の構成員が三重県山岳連盟役員として事業運営に参画するなど、あらゆる年代の登山愛好家への支援を通じ、スポーツ振興と山岳事故の防止に寄与している。	第2条4号	

平成 27 年度三重交通 G スポーツの杜 鈴鹿(三重県営鈴鹿スポーツガーデン)事業報告

平成 27 年度は、第 3 期指定管理者 2 年目にあたり、指定管理者で提案した事業計画及び本協会が制定した「スポーツ振興計画」に基づき、県営スポーツ施設の役割を果たすべく、県民総スポーツの振興に一層努めるとともに、健全な施設運営及び諸事業を積極的に推進するために次のとおり実施した。

1 利用の拡大・促進の取り組み

(1) 利用者サービスの向上

- ① 施設毎に異なる営業形態であったものを全施設統一し、下記のとおり営業を行った。

施設名	4 月～11 月	12 月～3 月
全施設 (水泳場、庭球場、サッカー・ラグビー場、体育館)	9:00～22:00	9:00～21:00

なお、平成 27 年度は水泳場のプール底面タイル及び側壁タイルの修繕に伴い、水泳場は営業を約 3 ヶ月間中止した。

- ② 休業日を原則月 1 回に見直し、7 月と 12 月に集中的にメンテナンスを行うことで開館日数を増やした。また、大会終了後は可能な限り開業時間を確保して一般開放を行った。
- ③ 大会や専用使用時のスムーズな運営を支援するため、行事の事前調整及び開館時間前の特別開場を行った。
- ④ 通常時に来場者アンケートを実施し、施設運営の要望・スポーツ教室等の実施内容について意見を収集した。集約した意見を全職員で検討し、速やかに対応できるものは実行し、施設改修など三重県体育協会グループで対応できない要望については県へ報告した。

(2) 利用促進活動

- ① リピーターに対するサービスの一環として、プール及び体育館トレーニング室定期券の販売を行った。
- ② 期間限定サービスの実施
- ア 通常の定期券にはない特典付きのウインターパスポートの販売を行った。
- イ 夏休み期間において、通常期は持ち込みが禁止されている浮輪などは、規定の範囲内であれば持ち込みを許可した。
- ③ PR 活動の実施
- ア 関係自治体に対して、イベントスケジュールの情報提供を行うとともに、スポーツ教室の折り込み広告を行った。
- イ スポーツ指導者講習会及びスポーツ講習会などの一般参加型イベントはホームページや場内に掲出した。
- ウ 施設要覧を作成し、関係機関へ配布した。
- エ イベント開催時には商圏範囲にある大きな団地へのポスティング等を行い、来場促進活動を行った。
- オ 従来は館内配布型であったガーデンニュースは、広報効率を考え市内各戸配布型フリーペーパーへの広告掲載に変更した。
- ④ 企業福利厚生施設の一環として、各企業の互助会との提携を行い施設利用の利便を図った。
- ⑤ シニア層のテニス愛好者の利用拡大・継続のため、シニアテニス大会の運営を支援した。
- ⑥ 施設 PR 及び新規顧客開拓の一環として、フリーマーケットの開催を行なった。

2 主催事業

(1) 三重交通G スポーツの杜 鈴鹿カップ

本協会加盟の競技団体と連携し、多くの県民が気軽に誰でもが参加できるよう三重交通G スポーツの杜 鈴鹿カップを実施した。

① ソフトテニス

期 日：平成27年8月1日（土）、8月2日（日）・3日（月）

対 象：小学生、中学生、高校生、一般、シニア

参加人数：小学生178名、中学生400名、高校生585名、一般172名 計1,335名

② ラグビー

期 日：平成27年8月1日（土）

対 象：一般

参加人数：60名（5チーム）

③ 水泳

期 日：平成27年8月29日（土）

対 象：個人（児童・一般）で50m以上の泳力を有する者

参加人数：330名（男子：190名・女子：140名）

④ サッカー

期 日：平成27年12月6日（日）

対 象：各支部から推薦された小学6年生と中学1年生（男子）

参加人数：270名

⑤ テニス

期 日：平成28年2月27日（土）～28日（日）、3月5日（土）～6日（日）

対 象：一般、シニア（45歳以上、55歳以上、65歳以上男子）

参加人数：480名

⑥ フットサル

期 日：平成27年10月24日（土）

対 象：小学生（12歳以下）

参加人数：268名

(2) スポーツフェスタ'15

普段ご利用の皆様への感謝と体育の日に因んで、施設の無料開放と参加型の各種イベント、健康チェックや文化的な催しを競技団体や関係団体の協力を得て実施した。

期 日：平成27年10月12日（月・祝日）

① 水泳場

体力測定会、スポーツ吹き矢体験会、発表会（バレエ・フラメンコ・太極拳・ヒップホップ・フラダンス・ベリーダンス）、青空フリーマーケット他

② 庭球場

施設無料開放、サービスアタッカー、SSG テニスアカデミー体験会

③ サッカー・ラグビー場

交流ゲーム（サッカー・タグラグビー）、体験会（アーチェリー・クライミング）

④ 体育館

卓球・バドミントン及びトレーニング室無料開放、ニュースポーツ、体験会（ビームライフル・プラズマカー）、ダンボールクラフト作り、青空フリーマーケット

参加者総数：5,254名

(3) 指導者講習会【競技別】

県内競技力向上の一環として、特定競技の指導者を対象として著名な指導者を招へいし、指導方法及び指導力向上を目的とした講習会を実施した。

開催日：平成27年11月22日（日）

競技：水泳

講師：直江祐樹（三重県水泳連盟医科学委員会副委員長）他1名

内容：講習会、実技講習会

参加人数：70名

（4）スポーツ講習会

スポーツに取り組む機会の提供として、スポーツ講習会を実施した。

① トップロープクライミング体験会

開催日：平成27年6月13日（土）、9月26日（土）

内容：トップロープクライミングの体験（登り方と確保の仕方）

延べ参加人数：15名

② キッズクライミング体験会

開催日：平成27年10月31日（土）

内容：小・中学生対象としたクライミングの体験

延べ参加人数：21名

③ トップロープクライミング講習会

開催日：平成27年7月11日（土）、10月10日（土）

内容：リードロープクライミングの技術取得

延べ参加人数：10名

④ リードロープクライミング（資格認定講習）

開催日：平成27年7月25日（土）～26（日）、10月24日（土）～25日（日）

内容：リードロープクライミングの実戦と技術認定

延べ参加人数：6名

⑤ スポーツ講習会

開催日：平成28年3月20日（日）

内容：「ウォーキングストレッチから学ぶ正しい姿勢の作り方」

講師：荒木 崇裕（中京大学陸上競技部OB）

参加人数：44名

（5）スポーツ教室

スポーツガーデン内の各施設を活用して多種多様なスポーツ教室を開催した。

開催コース数： 331 講座

延参加人数： 29,932 名

（6）スポーツサークル支援

テニスコートの定期利用者の拡大を目的として、サークルの登録制度を設け、使用料の一括精算制度や継続利用のための環境整備を行うなどサークル活動の支援を行った。

サークル登録数：135 団体

（7）ワンポイントレッスン

入場券のみで参加できる、水泳ワンポイント、水中運動ワンポイントレッスン等を通年で実施した。

水 泳：40回 459名

水中運動：15回 155名

レスキュースイミング：5回 19名

トレーニング：17回 34名

(8) 地域スポーツ支援

平成 23 年度まで鈴鹿市からの受託事業として行っていた水中ウォーク教室が中止となったことを受けて地域高齢者を対象とした水中ウォーク教室を主催事業として行った。

3 諸会議の開催

(1) 利用調整会議

競技施設として大会等の円滑な運営と、大会により一般開放が制限されることから、大会終了後の一般開放の拡大を図るため、関係競技団体等の参加のもと、使用期日の調整会議を開催した。

水泳場：平成 28 年 1 月 22 日（金）

庭球場：平成 28 年 1 月 26 日（火）

サッカー・ラグビー場：平成 27 年 12 月 15 日（火）

体育館：平成 27 年 12 月 22 日（火）

(2) 所内会議

所内会議を毎月実施し、年度当初に計画した事業計画進捗度の確認と利用者の皆様から頂戴した苦情・要望に対する対処、施設運営に係る事項について協議した。

4 施設管理

(1) 日常点検

利用者に対して、良質で安全かつ清潔な施設を提供するため、清掃・始業前点検・器具備品点検・施設点検を行い、異常箇所が見つかった場合は施設あるいは器具の使用中止の対応を取り、異常箇所の点検と必要に応じた修理を速やかに行った。

(2) 月次点検

4 施設（水泳場・庭球場・サッカー・ラグビー場・体育館）職員による、月次の設備備品の点検を行い、物品数の確認と正常動作の確認を行った。

5 リスクマネジメント

(1) 消防避難訓練

災害発生時を想定した訓練を 6 月及び 12 月の場内整備時に職員・業務委託業者を交えて行った。訓練では火災が発生したと想定し、消火用具を実際に用いて消火活動を行った。器具の使用方法を確認することで、実際の現場で使える技術を習得し、職員全員が危機管理意識の再確認と職員のリスクマネジメントに対する認識を強化した。

(2) 危機管理マニュアルの作成

職員・業務委託業者の緊急時連絡体制の整備及び緊急時・災害発生時に備えるための危機管理マニュアルを改訂し、業務委託事業者を含め全職員に配布し緊急時の対応に備えた。

(3) 県営スポーツ施設テロ対策訓練

三重県地域連携部国体準備課と連携して、昨今のテロ情勢を踏まえた自主警備体制の強化を図るための教養、事例紹介を含む講義、その後は水泳場内で不審物が置かれた際の施設職員の対応方法についての実技訓練を実施した。

6 施設整備

(1) 三重県地域連携部スポーツ推進局国体準備課直轄の施設整備として主に下記の補修・改修が実施された。

- ① 水泳場／プール底面タイル及び側壁タイル補修工事
- ② 水泳場／吸収式冷温水発生器吸収液調整
- ③ 水泳場・庭球場／避難誘導灯不良箇所取替工事
- ④ 水泳場／水球ゴール更新
- ⑤ サッカー場／サッカーゴール・緑地管理用自走ロータリーモア更新
- ⑥ 体育館／トレーニング室トレッドミル・エアロバイク更新

(2) 独自整備として下記の内容において自己財源で補修・改修工事を実施した。

水泳場・庭球場／直流電源装置バッテリー触媒栓更新 (約 1,000 千円)

庭球場／コントロール棟放送設備改修 (約 1,070 千円)

サッカー場／ベンチ屋根材取替修繕 (約 1,739 千円)

多目的広場／アーチェリー用防矢ネット改修 (約 2,306 千円)

(3) 修繕計画の要望

優先順位を定め県へ施設整備の要望を行うために、中・長期的整備計画を策定した。

7 利用人数及び利用料金収入

年度	利用者数		26年度比較	利用料収入	26年度比較
H26年度	水泳場	217,364名		49,722,320円	
	庭球場	98,621名		25,634,000円	
	サッカー・ラグビー場	93,764名		13,183,040円	
	体育館	79,096名		15,454,270円	
	合計	488,845名		103,993,630円	
H27年度	水泳場	182,454名	△34,910名	42,718,645円	△7,003,675円
	庭球場	103,982名	5,361名	27,546,960円	1,912,960円
	サッカー・ラグビー場	93,612名	△152名	14,065,300円	882,260円
	体育館	82,413名	3,317名	17,317,030円	1,862,760円
	合計	462,461名	△26,384名	101,647,935円	△2,345,659円

全体：新規利用団体及び専用利用の増加。

水泳場：プールタイル底面及び壁面タイルの修繕に伴う約3ヶ月間の営業中止による利用減。

8 職員研修、その他

- (1) 緊急時にスタッフが心肺蘇生法を行えるよう、心肺蘇生法講習会を開催し、職員及び委託事業所従事者が受講した。
- (2) 三重県及び関係機関が開催する各種講習会又は説明会に新人スタッフを中心に派遣し、スタッフの資質向上に努めた。

平成27年度 三重交通G スポーツの杜 鈴鹿(三重県営鈴鹿スポーツガーデン)利用人数一覧表

	水泳場						庭球場				サッカー・ラグビー場						体育館			合計
	専用利用				個人利用	水泳場 小計	屋外	シェルター	センター	庭球場 小計	メイン	サブ	多目的	会議室	クライミング	サッカー場小計	アリーナ	個人 利用	体育館小計	
	メイン	サブ	飛込	会議室																
4月	3,340	3,537	546	4,726	8,323	20,472	5,457	2,599	368	8,424	0	4,515	305	705	8	5,533	3,346	1,668	5,014	39,443
5月	3,139	2,290	742	1,595	10,486	18,252	7,774	2,525	357	10,656	3,690	4,195	215	515	7	8,622	4,868	1,755	6,623	44,153
6月	2,905	3,145	614	1,788	10,227	18,679	4,682	2,756	264	7,702	890	3,060	210	290	20	4,470	4,093	1,953	6,046	36,897
7月	4,836	3,171	813	1,826	11,298	21,944	7,075	2,975	313	10,363	1,670	5,380	290	885	92	8,317	5,119	1,689	6,808	47,432
8月	6,260	3,177	1,292	2,049	11,994	24,772	9,683	2,959	572	13,214	2,480	6,940	307	910	0	10,637	6,411	1,774	8,185	56,808
9月	0	0	0	1,773	0	1,773	6,026	2,839	383	9,248	4,500	6,465	245	450	10	11,670	4,983	2,271	7,254	29,945
10月	0	0	0	2,465	0	2,465	5,824	2,290	457	8,571	550	5,685	313	445	131	7,124	5,797	2,060	7,857	26,017
11月	976	875	80	1,997	404	4,332	4,750	2,580	493	7,823	4,960	4,945	260	831	0	10,996	4,339	2,024	6,363	29,514
12月	6,771	3,505	965	2,445	5,935	19,621	5,356	1,945	535	7,836	600	5,035	125	335	0	6,095	6,994	1,556	8,550	42,102
1月	5,164	1,186	1,007	2,043	7,162	16,562	4,139	2,093	340	6,572	1,200	3,555	125	335	0	5,215	3,873	1,887	5,760	34,109
2月	3,408	1,642	936	2,052	7,268	15,306	3,694	1,783	295	5,772	1,200	5,370	95	540	4	7,209	3,229	2,133	5,362	33,649
3月	5,397	2,060	1,277	2,027	7,515	18,276	5,212	2,269	320	7,801	516	6,113	295	800	0	7,724	6,650	1,941	8,591	42,392
年合計	42,196	24,588	8,272	26,786	80,612	182,454	69,672	29,613	4,697	103,982	22,256	61,258	2,785	7,041	272	93,612	59,702	22,711	82,413	462,461

特記1:各施設の利用者数には減免利用者を含む

平成27年度三重交通G スポーツの杜 鈴鹿(三重県営鈴鹿スポーツガーデン)施設利用金収入一覧

	水泳場						庭球場				サッカー・ラグビー場						体育館			合計
	専用利用				個人利用	小計	屋外	シェルター	センター	小計	メイン	サブ	多目的	会議室	クライミング	小計	アリーナ	個人利用	体育館小計	
	メイン	サブ	飛込	会議室																
4月	874,500	583,000	195,600	312,000	2,374,550	4,339,650	1,388,600	777,000	99,300	2,264,900	0	814,600	31,800	62,200	1,400	910,000	835,450	261,380	1,096,830	8,611,380
5月	707,250	386,000	267,000	206,000	2,812,150	4,378,400	1,748,100	771,600	123,800	2,643,500	253,000	748,100	37,800	135,200	4,200	1,178,300	1,036,470	297,360	1,333,830	9,534,030
6月	874,750	549,750	180,000	232,100	2,763,050	4,599,650	1,101,360	785,000	83,200	1,969,560	121,700	515,800	32,400	64,000	5,600	739,500	901,850	302,850	1,204,700	8,513,410
7月	1,150,000	506,750	291,000	247,200	3,276,250	5,471,200	1,589,500	829,000	110,300	2,528,800	139,500	964,400	35,100	220,700	51,100	1,410,800	1,698,650	289,920	1,988,570	11,399,370
8月	1,603,000	602,000	351,000	274,200	3,196,650	6,026,850	1,875,200	887,200	139,400	2,901,800	293,000	1,261,940	43,080	255,100	0	1,853,120	1,867,000	290,290	2,157,290	12,939,060
9月	0	0	0	204,000	0	204,000	1,551,800	792,800	104,300	2,448,900	140,500	1,108,880	31,500	58,000	4,200	1,343,080	1,174,130	372,960	1,547,090	5,543,070
10月	0	0	0	203,800	0	203,800	1,494,400	667,800	129,000	2,291,200	38,500	854,800	39,900	45,200	26,600	1,005,000	969,000	313,040	1,282,040	4,782,040
11月	139,250	54,000	51,000	270,300	341,700	856,250	1,454,700	731,200	122,400	2,308,300	210,800	860,700	35,400	135,900	0	1,242,800	1,102,400	316,360	1,418,760	5,826,110
12月	1,476,250	516,750	306,000	327,900	1,617,550	4,244,450	1,308,700	644,400	128,000	2,081,100	109,000	1,012,300	17,100	78,900	0	1,217,300	1,104,700	235,690	1,340,390	8,883,240
1月	1,020,875	291,500	355,500	238,300	2,419,200	4,325,375	1,213,200	683,600	132,500	2,029,300	91,900	826,300	17,100	49,600	0	984,900	879,050	333,970	1,213,020	8,552,595
2月	927,250	366,000	351,000	325,800	1,460,800	3,430,850	992,100	601,000	103,800	1,696,900	37,900	767,100	11,700	44,200	2,100	863,000	933,650	329,900	1,263,550	7,254,300
3月	1,298,250	402,500	468,000	275,920	2,193,500	4,638,170	1,574,500	702,400	105,800	2,382,700	89,500	1,117,800	41,400	68,800	0	1,317,500	1,137,350	333,610	1,470,960	9,809,330
年合計	10,071,375	4,258,250	2,816,100	3,117,520	22,455,400	42,718,645	17,292,160	8,873,000	1,381,800	27,546,960	1,525,300	10,852,720	374,280	1,217,800	95,200	14,065,300	13,639,700	3,677,330	17,317,030	101,647,935

※収入に関する特記

特記1: 水泳場電光掲示板使用料はメインプールに含む

特記2: 水泳場会議室使用料には冷暖房を含む

特記3: サッカー場サブグラウンド使用料には照明使用料を含む

特記4: 体育館アリーナには器具使用料、照明使用料、空調使用料を含む

平成 27 年度 三重交通 G スポーツの杜 伊勢（三重県営総合競技場）事業報告

平成 27 年度は、第 3 期指定管理者 2 年目にあたり、指定管理者で提案した事業計画及び本協会が制定した「スポーツ振興計画」に基づき、県営スポーツ施設としての役割を果たすため、県民のスポーツ振興に一層寄与するとともに、健全な施設運営を果たすため下記の諸事業を積極的に推進した。

また、本年度から陸上競技場の改修を実施していることを施設使用者に周知し、利用にあたって支障をきたさないように努めた。

1 利用者の拡大・促進

(1) 利用者サービスの拡充

- ① 競技場運営方針・利用目標を設け、利用者のサービスに努め、拡大に努力した。
- ② 利用者の立場に立って施設の有効利用、積極的な対応・接遇を行い業務改善・管理運営に努めた。
- ③ 利用者との大会事前打ち合わせや、定期的に利用者の説明会を行い、スムーズな大会運営に努めた。
- ④ 提案箱、利用者アンケートを実施し可能なものから改善を行った。
- ⑤ スポーツ教室参加者増加のため、広報活動の工夫に努め、獲得増を図った。また、各サークルに呼びかけ、クラブ化への活動支援を積極的に行った。
- ⑥ 大会の開催等や繁忙期には、休業日の積極的な開場を行った。
- ⑦ 利用者の要望に応じて、陸上競技場の営業時間（17 時～19 時）の延長を行った。（4 月～9 月）
- ⑧ キャンセル発生時は、各団体に呼びかけて利用を促した。
- ⑨ 11 月から陸上競技場改修が本格的に始まり、利用者には可能な限りの利用の便宜を図り、現在の補助競技場の有効的活用に努めた。

(2) 利用促進について

- ① 定期的利用を図るために、医師会・学校・企業訪問を行った。また、企業には福利厚生施設として利用の周知に努めた。
- ② スポーツ教室について、希望者の多い講座を追加し、16 種目 102 講座を実施した。
- ③ トレーニングセンター利用者の利便性を図るため、「1 ヶ月券・3 ヶ月券」を発行するとともに、スポーツ教室参加者に無料券（1 回券）を配布して、トレーニングセンターの利用促進に努めた。

(3) 広報活動について

- ① 近隣市町への広報紙（折込みチラシ）報道機関へ利用状況及びスポーツ教室等の情報提供を行った。
- ② 行事スケジュール（競技場の主な大会一覧）を発行した。（500 部×12 月）
- ③ ホームページに最新の大会スケジュール及び施設予約状況を提供した。
- ④ 陸上競技場近隣市町の小・中・高校へ 500 部作成し延長時間の情報提供を行った。

(4) 職員の研修・視察

- ① 各種講習会・研修会に参加し、職員の資質向上に努めた。

2 主催事業について

- (1) スポーツ教室を最近の県民の健康維持促進の要望に応え、前期（5 月～7 月）・中期（10 月～12 月）・後期（1 月～3 月）の三期に分け 16 種目 102 講座を実施し、延べ 16,530 名の参加を得た。

- (2) 三重県小学生及びその指導者を対象とした講習会を、(一財)三重陸上競技協会・(公財)日本陸上競技連盟と共催で 11 月に実施した。

本年度は、日本陸上競技連盟及びスポーツクラブから講師を招き、三重陸上競技協会強化委員及び皇學館大学陸上競技部員による中学生対象のコントロールテスト及びブロック別実技講習及び練習を行い 426 名の参加を得た。

(3) 第10回総合競技場感謝フェスティバル

本年度は施設改修工事による使用可の場所が縮小されたことから、少年ミニサッカーのみの実施となった。

・期 日：平成27年10月25日（日）

・会 場：競技場補助競技場＝少年ミニサッカー大会

総参加者数：510名

(4) 体力測定

トレーニングセンターにて、トレーニング方法やダイエットに関する体力測定を希望者に応行った。

(5) 第8回三重県営総合競技場杯ミックスダブルスバドミントン団体戦

・大会を開催することにより、競技人口の拡大と施設活用をアピールした。

・期 日：平成27年9月27日（日）

参加者：32チーム221名

3 施設管理・リスク対策について

(1) 利用者に対し良質な施設環境を提供するため、委託業務による点検に立ち会うとともに、設備の定期点検以外に、巡回目視による危険・不良箇所の点検を随時行った。

(2) 危機管理マニュアルに基づき、緊急時への迅速な対応、連絡体制を強化した。リスク対策強化として救急講習等に参加し、職員の認識向上を図った。

(3) 大会や自主事業開催時を想定した総合的な消防訓練を実施した。

(4) テロ対策への講習会及び実施訓練講習会等に参加し、予防の仕方を体得した。

4 施設整備

- ・ 陸上競技場改修整備
- ・ 陸上競技場補助競技場・投てき場の新設
- ・ 陸上競技場補助競技場・投てき場照明設備整備
- ・ 陸上競技場北トイレ改修
- ・ 陸上競技場ウレタン補修修理
- ・ 陸上競技場更衣室漏水修理
- ・ 補助員室の漏水修理
- ・ 陸上競技場男子屋外トイレ漏水修理
- ・ 陸上競技場トラックレーン補修
- ・ 陸上競技機具修理
- ・ 陸上競技器具YOスタート発信装置修理
- ・ 陸上競技棒高跳ボックス修理
- ・ 陸上競技場電話修理
- ・ 西駐車場新設
- ・ 西駐車場照明設備設置
- ・ 体育館空調修理
- ・ バasketボールゴールショットクロック操作盤交換
- ・ 体育館空調気圧装置の修理
- ・ 体育館別館前外灯タイマー修理
- ・ 体育館別館ガラス修理
- ・ 体育館本館トイレ漏水修理
- ・ ピアノ補修修理
- ・ 体育館誘導灯修理
- ・ トレーニング機器修理
- ・ トレーニングセンターマッサージ器修理

- ・ トレーニングセンター空調修理
- ・ トレーニングセンターコンセント修理
- ・ トレーニングセンター蜘蛛駆除修理
- ・ 消防設備改修工事
- ・ マイクロフォン修理

5 その他

陸上競技場が改修中ではあるが、本年度も美し国三重市町対抗駅伝のゴール地点となり、市町それぞれの襷をつないだ選手を激励するため、県内より多くのチーム関係者・観客が詰め掛けた。

また、西駐車場では県内の特産品を集めた物産市が開かれ、観客、地域住民など多く訪れ、大いに賑わいを見せた。

6 利用者数及び利用料収入

年度	利用者数		26年度比較	利用料収入	26年度比較
H26年度	競技場	209,477名		7,136,205円	
	体育館	102,300名		15,388,395円	
	トレーニングセンター	39,150名		7,620,690円	
	合計	350,927名		30,145,290円	
H27年度	競技場	162,706名	△46,771名	6,673,445円	△462,760円
	体育館	132,869名	30,569名	17,171,970円	1,783,575円
	トレーニングセンター	45,494名	6,344名	8,772,460円	1,151,770円
	合計	341,069名	△9,858名	32,617,875円	2,472,585円

◎ 陸上競技場・体育館及びトレーニングセンター利用増収説明

本年度は、11月から陸上競技場の改修工事に伴い、「お伊勢さんマラソン大会」開催会場の変更となり、利用者数・利用料収入とも大幅な減少が予測されたが、全国高等学校産業フェア及び、東海ブロック大会が1大会多く開催されことで、陸上競技場のみに減少を食い止めることができた。

施設全体では、利用者数は陸上競技場改修により9,858名(2.9%)の減少となったが、利用料収入では2,472,585円(8.2%)の増加を得ることが出来た。

平成27年度 三重交通Gスポーツの杜伊勢(三重県営総合競技場) 利用人数一覧表

(単位:人)

	陸上競技場				体育館				トレーニングセンター	合計
	陸上競技場	補助競技場	会議室	小計	本館	別館	会議室	小計		
4月	14,049	4,736	790	19,575	2,351	1,929	60	4,340	3,711	27,626
5月	22,631	1,427	1,606	25,664	8,433	2,454	50	10,937	3,736	40,337
6月	14,182	1,382	1,561	17,125	5,602	1,852	190	7,644	3,986	28,755
7月	31,393	1,150	1,828	34,371	3,825	2,206	222	6,253	4,088	44,712
8月	22,017	2,127	401	24,545	10,627	2,084	799	13,510	3,663	41,718
9月	7,695	2,040	1,872	11,607	4,548	2,365	307	7,220	3,803	22,630
10月	12,996	1,879	1,865	16,740	5,855	2,096	110	8,061	4,003	28,804
11月	2,502	1,860	1,546	5,908	12,646	5,056	140	17,842	4,000	27,750
12月	50	2,112	319	2,481	4,327	2,195	1,142	7,664	3,323	13,468
1月	0	592	0	592	5,661	2,429	1,365	9,455	3,342	13,389
2月	0	1,594	0	1,594	25,688	4,861	1,601	32,150	3,883	37,627
3月	0	2,504	0	2,504	4,733	1,865	1,195	7,793	3,956	14,253
合計	127,515	23,403	11,788	162,706	94,296	31,392	7,181	132,869	45,494	341,069

平成27年度 三重交通Gスポーツの杜伊勢(三重県営総合競技場) 施設使用料一覧表

(単位:円)

	陸上競技場				体育館				トレーニングセンター	合計
	陸上競技場	補助競技場	会議室	小計	本館	別館	会議室	小計		
4月	532,660	154,200	117,700	804,560	601,730	391,310	4,580	997,620	771,360	2,573,540
5月	849,200	33,440	175,360	1,058,000	833,200	355,430	5,200	1,193,830	739,790	2,991,620
6月	520,740	46,570	141,200	708,510	790,060	328,410	66,110	1,184,580	803,190	2,696,280
7月	715,820	38,900	176,200	930,920	992,170	443,850	32,210	1,468,230	799,990	3,199,140
8月	779,490	47,910	83,350	910,750	2,177,620	473,140	192,380	2,843,140	691,880	4,445,770
9月	380,650	81,980	127,020	589,650	742,960	401,520	37,620	1,182,100	717,190	2,488,940
10月	490,215	44,700	193,920	728,835	779,355	377,250	19,200	1,175,805	803,860	2,708,500
11月	119,720	37,610	138,220	295,550	1,000,410	378,770	54,090	1,433,270	749,020	2,477,840
12月	10,000	58,580	26,280	94,860	934,795	467,640	90,080	1,492,515	550,520	2,137,895
1月	0	21,680	0	21,680	1,111,790	533,090	82,300	1,727,180	694,680	2,443,540
2月	0	33,010	0	33,010	812,600	436,850	152,080	1,401,530	691,080	2,125,620
3月	0	497,120	0	497,120	662,730	328,200	81,240	1,072,170	759,900	2,329,190
合計	4,398,495	1,095,700	1,179,250	6,673,445	11,439,420	4,915,460	817,090	17,171,970	8,772,460	32,617,875

平成 27 年度三重県立鈴鹿青少年センター事業報告

1, 受け入れ事業

・利用状況（※は指定管理者評価項目）

延利用人数 75,946 名（前年度比+1,227 名）※目標値：73,300 名

一日研修利用人数 12,760 名（前年度比▲1,863 名）

延宿泊人数 34,069 名（前年度比+1,710 名）

定員稼働率 27.72%※目標値：26.5%

団体数 994 団体（前年度+9 団体）

2, 利用者の拡大・促進

（1）利用者サービスの充実

- 1) 鈴鹿青少年センター運営方針・利用目標を設けて、利用者サービス拡大に努めた。
- 2) 繁忙期及び利用団体に応じて休業日の営業（4月～8月、1月）を行った。
- 3) 利用者アンケートを実施して運営改善を行った。
- 4) 出前事業やみえふるさと体験事業へ職員を講師として派遣し、施設・伝統産業の PR 及び体験活動の場の提供を行った。
- 5) 利用者アンケートに基づく施設改修を行いハード面の整備を行った。

（2）広報及び利用促進活動について

- 1) 団体広報紙への情報提供を行った。（Voice-M-Magazine、スキップ等）
- 2) 各種主催事業チラシを独自で作成し、市内小中学校、各市町教育委員会及び近隣コミュニティーセンターへの設置や配布依頼を行った。
- 3) 近隣市町広報紙への主催事業募集掲載を行った。（鈴鹿市・亀山市）
- 4) 各種出前事業を行い、地元伝統産業の PR 及び施設 PR を行った。
- 5) 当施設のホームページを作成及び管理し、インターネットでの情報発信を行った。
- 6) ホームページにブログシステムを導入し、主催事業などの活動報告をリアルタイムに掲載する体制を構築した。
- 7) 鈴鹿市教育委員会を通じて、鈴鹿市小中学校校長会へ施設利用に関する要望書を提出した。
- 8) 閑散期の利用促進策として、全国の大学陸上部に対して近隣施設も掲載した利用促進チラシとパンフレットを送付した。

（3）職員研修

- 1) 東海北陸地区青少年教育施設協議会運営研究大会への参加
- 2) 各種講習会、研修会（個人情報保護等）への参加

3, 主催事業

（1）創作活動事業

- 1) 実施期日：年間随時
- 2) 延べ参加人数：5,521 名
- 3) 内 容：センター利用者の希望に応じて、伊勢型紙や焼き杉などの活動支援を行った。

（2）アウトドア塾

- 1) 実施期日：平成 27 年 5 月 30 日
- 2) 延べ参加人数：32 名
- 3) 内 容：野外活動に興味のある高校生以上を対象に、野外活動時にリスク管理方法や災害時に役立つまめ知識等を学ぶ機会を提供した。

(4) 単級学級交流

- 1) 実施期日：平成 27 年 7 月 1 日～2 日
- 2) 参加人数：126 名
- 3) 内 容：少子化の影響で単級（1 学年 1 クラス）になった学校間で共同生活を行うことで有効を深め各学校の特性を理解し、互いを尊重し合い、広い視野を持った子どもが育成できる場を提供した。

(5) ボランティア養成講習会（レッツ・チャレンジ 2015 事前合宿）

- 1) 実施期日：平成 27 年 8 月 9 日～10 日
- 2) 参加人数：6 名
- 3) 内 容：野外活動に興味のある高校生、インターンシップの大学生や一般社会人を対象として安全に配慮した活動計画の作成とレッツ・チャレンジ 2015 にも参加することで実践の場を提供し野外活動ボランティアの養成に努めた。

(6) レッツ・チャレンジ 2015

- 1) 実施期日：平成 27 年 8 月 19 日～22 日及び 10 月 31 日
- 2) 参加人数：32 名
- 3) 内 容：自然の中で年齢の異なる子どもたちが共同生活をしながらいろいろな体験活動にチャレンジすることで自然の素晴らしさを知り、自然に対する理解や愛情を育てることを目的としたロングキャンプを開催した。また、例年中止になっていることの多かった登山は時期のよい 10 月末に日帰りで行った。

(7) 子ども体験遊びリンピック in みえ

- 1) 実施期日：平成 27 年 10 月 18 日
- 2) 参加人数：122 名
- 3) 内 容：体験の風をおこそう月間のイベントとして、三重県青少年施設協議会に加盟する 3 施設の合同イベントとして各種体験活動を行った。

(8) 絆キャンプ

- 1) 実施期日：平成 27 年 10 月 21 日～22 日
- 2) 参加人数：適用指導教室参加者
- 3) 内 容：桑名適用指導教室に参加する子どもたちを対象とした宿泊研修を共同で開催し運営をサポートした。

(9) わくわくファミリーキャンプ

- 1) 実施期日：平成 27 年 10 月 24 日～25 日
- 2) 参加人数：17 家族 46 名（ボランティア及びスタッフを除く）
- 3) 内 容：親子で青少年センターの周辺で採れた栗を使った栗ごはんなど秋の味覚を使用したアウトドアクッキング等の体験活動を行った。

(10) キッズチャレンジスポーツ

- 1) 実施期日：平成 27 年 11 月 1 日～12 月 6 日【毎週日曜日計 6 回】
- 2) 参加人数：13 名
- 3) 内 容：ニュースポーツなど様々な運動を通じて体力向上を図るとともに、身体を動かすことの喜びを知り、やり遂げる達成感を体験させ努力する子どもの育成を図った。

(11) 大人の学校シリーズ

1) 篆刻と水墨画

ア、実施期日：平成 27 年 11 月 12 日・19 日

イ、参加人数：20 名

ウ、内 容：自分でデザインした篆刻を作成し、第 2 回目で水墨画を描いて押印し作品を完成させた。

- 2) パソコンで年賀状作り
 - ア、実施期日：平成 27 年 11 月 18 日・25 日
 - イ、参加人数：17 名
 - ウ、内 容：一般成人を対象に、パソコンでの年賀状作成を行った。
- 3) みかん狩りとジャム作り
 - ア、実施期日：平成 27 年 11 月 27 日・12 月 3 日
 - イ、延べ参加人数：61 名
 - ウ、内 容：近隣農家と連携し、みかん狩り体験を行い、収穫したみかんを使ったジャム作りを行った。
- 4) そば打ち体験
 - ア、実施期日：平成 28 年 2 月 10 日・17 日
 - イ、延べ参加人数：65 名
 - ウ、内 容：参加者自らがそば打ちを行い、試食を行った。
- 5) 篆刻（中級編）
 - ア、実施期日：平成 28 年 2 月 18 日・25 日
 - イ、延べ参加人数：22 名
 - ウ、内 容：篆刻講座経験者を対象とした複雑な篆刻作りを体験した。
- (12) ウィンターアドベンチャー
 - 1) 実施期日：平成 27 年 12 月 12 日～13 日
 - 2) 参加人数：48 名（スタッフを除く）
 - 3) 内 容：冬の自然体験をとおして自然の素晴らしさを学ぶ機会を提供した。
- (13) おもしろ自然科学教室
 - 1) 実施期日：平成 28 年 1 月 23 日・30 日・2 月 6 日（毎週土曜日計 3 回）
 - 2) 延べ参加人数：71 名
 - 3) 内 容：毎回違うテーマに基づいた実験や科学の原理を用いた製品づくりをすることで科学に興味のある子どもの育成を図った。
- (14) センターフェスタ
 - 1) 実施期日：平成 28 年 2 月 21 日
 - 2) 来場者数：2,234 名
 - 3) 内 容：年に 1 回のイベントとして、青少年センター利用団体のステージ発表や関係機関と協力して体験ブースを設け施設 PR を行った。また、平成 27 年度は開設 30 周年を迎え記念植樹を行った。
- (15) 親子 Day キャンプ
 - 1) 実施期日：平成 28 年 3 月 5 日
 - 2) 参加人数：15 家族 35 名（スタッフを除く）
 - 3) 内 容：天候の影響を受けないラウンジ調理器具を使って親子でできる簡単な調理体験とキャンドルファイヤーの体験を行った。
- (16) 出前・イベント出展等
 - 1) 体験活動サポート事業（みえのふるさと体験サポート事業）
 - ア、山郷小学校
 - (ア) 実施期日：平成 28 年 2 月 18 日
 - (イ) 体験人数：51 名
 - (ウ) 内 容：三重県教育委員会が実施するみえ体験活動サポート事業に申し込みを行った団体に対して指導者を派遣し、鈴鹿の伝統産業である伊勢型紙しおり作りの指導を行った。

2) 各種イベント出展及び体験活動サポート以外の出前講座

ア、春のキッズエコフェア

(ア) 実施期日：平成 27 年 4 月 6 日

(イ) 体験人数：37 名

(ウ) 内 容：三重県環境学習センターが主催する「春のキッズエコフェア」（近隣施設と合同で開催される「春のわくわくふれあいまつり」のイベントのひとつ）に伊勢型紙しおり作り体験ブース出展を行い、伝統産業体験プログラムの提供を行った。

イ、春のわくわくふれあい祭り

(ア) 実施期日：平成 27 年 4 月 26 日

(イ) 体験人数：86 名※体験者数

(ウ) 内 容：上記アと同じ日程で開催された合同イベントの四日市少年自然の家で体験活動（プラバンキーホルダー作り）を行った。

ウ、四日市勤労者市民交流センター体験活動

(ア) 実施期日：平成 27 年 6 月 14 日

(イ) 参加人数：19 名

(ウ) 内 容：四日市勤労者・市民交流センターが開催する体験事業に講師を派遣し、伊勢型紙ミニ色紙作りの指導を行った。

エ、みえエコフェア

(ア) 実施期日：平成 27 年 7 月 19 日

(イ) 体験人数：84 名

(ウ) 内 容：四日市環境学習情報センターで開催されたイベントに体験ブースとしてプラバンキーホルダー作りを出展し、体験活動の場を提供した。

オ、四日市秋のわくわくふれあい祭り

(ア) 実施期日：平成 27 年 10 月 3 日

(イ) 体験人数：132 名

(ウ) 内 容：四日市市少年自然の家が行うイベントで体験ブース（伊勢型紙しおり作り）の出展を行った。

オ、体験活動サポート事業（鈴鹿市立鈴峰中学校）

(ア) 実施期日：平成 27 年 10 月 17 日

(イ) 体験人数：18 名

(ウ) 内 容：中学校からの要請により講師を派遣し創作体験活動の指導を行った。

カ、熊野オープンデー

(ア) 実施期日：平成 28 年 3 月 20 日

(イ) 体験人数：95 名

(ウ) 内 容：県内社会教育施設の熊野少年自然の家が開催する無料開放イベントへの協力として体験ブースの出展を行った。

4. 施設整備

(1) 独自整備分（250 万円以上の修繕や長期整備で要望している整備の部分実施等）

- 1) 宿泊棟畳表替え（一部の宿泊室）
- 2) 無償貸与物品更新（製氷機）
- 3) 研修棟トイレウォシュレット設置

5, 利用人数、利用料金及びその他収入

年度	利用人数		平成26年度 比較	利用料金収入		平成26年度 比較
平成26年度	宿泊研修	32,359人		宿泊利用	39,069,120円	/
				研修室利用(宿泊)	2,303,000円	
	研修室利用(日帰り)	2,911,290円				
	設備器具利用	799,600円				
	小計	45,083,010円				
	参加料収入	3,238,260円				
	その他収入	538,320円				
	小計	3,776,580円				
延べ人数	74,719人		総収入	48,859,590円		
平成27年度	宿泊研修	34,069人	1,710人	宿泊利用	39,710,068円	640,948円
				研修室利用(宿泊)	1,862,810円	▲440,190円
	研修室利用(日帰り)	2,641,702円	▲269,588円			
	一日研修	12,760人	▲1,863人	設備器具利用	717,900円	▲81,700円
				小計	44,932,480円	▲150,530円
	延べ人数	75,946人	1,227人	参加料収入	3,140,150円	▲98,110円
				その他収入	625,256円	86,936円
				小計	3,765,406円	▲11,174円
				合計	48,697,886円	▲161,704円

平成27年度 鈴鹿青少年センター施設利用状況一覧表

月	開所 日数	宿泊可 能日数	利用 日数	施設稼働率	利用団体数	延宿泊者数	宿泊利用率	延利用者数	施設利用率	内1日研修
4月	30	29	30	100.0	80	4,298	40.3	9,327	84.5	1,124
5月	31	30	31	100.0	85	4,907	44.4	9,798	85.9	1,248
6月	30	28	30	100.0	80	3,610	35.0	7,638	69.2	1,011
7月	31	30	31	100.0	133	4,383	39.7	9,528	83.5	1,171
8月	31	31	31	100.0	122	5,810	50.9	10,611	93.0	566
9月	29	28	27	93.1	81	2,321	22.5	4,175	39.1	675
10月	30	27	26	86.7	71	1,605	16.2	4,043	36.6	943
11月	29	27	25	86.2	73	515	5.2	2,526	23.7	1,554
12月	27	25	26	96.3	63	2,339	25.4	5,096	51.3	1,048
1月	27	25	23	85.2	56	741	8.1	3,128	31.5	1,643
2月	27	25	23	85.2	54	633	6.9	4,220	42.5	791
3月	30	29	29	96.7	96	2,907	27.2	5,856	53.0	986
合計	352	334	332	*	994	34,069	*	75,946	*	12,760
平均	29.3		27.7	94.32	82.8	2,839.1	27.72	6,328.8	58.6	1,063.3

※毎月の宿泊利用率は、各月で算出し、年間平均は年間宿泊日数から算出

平成27年度 鈴鹿青少年センター利用人数及び利用料金統計表

月	延利用人数	延宿泊人数	利 用 料 金									利用料金 合計
			施 設 利 用 料 金						設備器具			
			宿泊を伴う場合				宿泊を伴わない場合					
			宿泊利用	総合研修館	大研修室	研修室・OR室 文化室 創作室	総合研修館	大研修室		研修室・OR室 文化室 創作室		
4月	9,327	4,298	5,606,370	50,600	3,570	53,820	76,770	13,320	148,510	18,600	5,971,560	
5月	9,798	4,907	4,412,770	48,300	3,850	63,540	54,570	63,820	89,720	2,500	4,739,070	
6月	7,638	3,610	2,677,030	11,040	11,820	38,880	53,640	10,540	79,150	15,000	2,897,100	
7月	9,528	4,383	4,243,616	38,640	37,930	164,880	47,910	59,940	194,328	160,100	4,947,344	
8月	10,611	5,810	6,601,680	104,420	36,300	322,200	38,850	17,760	48,500	280,800	7,450,510	
9月	4,175	2,321	4,668,230	1,840	41,800	81,540	5,550	78,810	142,874	13,500	5,034,144	
10月	4,043	1,605	2,164,330	21,620	34,640	119,280	25,900	46,060	86,430	11,200	2,509,460	
11月	2,526	515	920,260	4,600	14,570	35,280	49,950	83,800	247,030	17,500	1,372,990	
12月	5,096	2,339	2,817,970	34,500	20,070	68,220	53,650	39,960	153,980	38,100	3,226,450	
1月	3,128	741	803,900	9,660	14,840	53,280	38,840	69,370	169,280	45,500	1,204,670	
2月	4,220	633	853,840	40,940	14,850	84,060	0	34,960	60,180	33,000	1,121,830	
3月	5,856	2,907	3,940,072	48,760	28,590	100,080	47,170	18,310	192,270	82,100	4,457,352	
合計	75,946	34,069	39,710,068	414,920	262,830	1,185,060	492,800	536,650	1,612,252	717,900	44,932,480	

平成 27 年度三重県営松阪野球場事業報告

平成 27 年度は本協会が指定管理者 2 年度目にあたり、指定管理者で提案した事業計画及び本協会が制定した「スポーツ振興計画」に基づき、県営スポーツ施設の役割を果たすべく、県民総スポーツの振興に一層努めるとともに、健全な施設運営に努めた。

1 利用者の拡大・促進

(1)利用者サービスの拡充

平成 27 年度は指定管理者 2 年目にあたり、前年度より引き続き本協会独自サービスとして下記の取り組みを行った。

- ①指定管理者変更による管理者の変更を利用者へ周知した。
- ②施設の有効利用、積極的な応対・接遇を行い業務改善・管理運営に努めた。
- ③利用調整会議を実施し、各種団体間との調整を図った。
- ④大会運営者との大会事前打ち合わせを行い、スムーズな大会運営を支援した。
- ⑤設備の改修や施設運営について意見集約し、速やかに対応できるものについては実行し、設備の改修など本協会に対応できない要望については県へ報告した。
- ⑥大会等スムーズな運営を支援するため、大会規模に応じて時間前の開館や雨天順延による大会予備日の休業日開場の対応を行った。
- ⑦9 月 1 日より三重県営松阪野球場予約管理システムの導入を行った。
- ⑧通常の芝管理以外に、独自予算にて芝生の補植工事を行い、より良い環境でプレー出来るようグラウンド整備を行った。
- ⑨中部台運動公園利用者への利便として、トイレを休館日以外は常時開放した。

(2)利用促進について

- ①松阪管内中学校へ課外活動での利用促進について訪問。
- ②野球場の新たな試みとして、(一社)三重県レクリエーション協会・(公財)三重こどもわかもの育成財団と野球以外のスポーツイベントの開催に向けての協議を行った。
- ③野球場の在り方について、地元中体連や県高野連と意見交換を行った。
- ④県内出身者のプロ野球関係者による野球教室を特別開場にて実施した。

(3)広報活動について

- ①当野球場ホームページにより、オンラインでの予約や空き状況などの情報を発信した。

2 主催事業について

松阪地区管内中体連の協力を得て、第 1 回県営松阪野球場杯を実施した。

- ① 第 1 回県営松阪野球場杯
期 日：平成 27 年 8 月 27 日(木)
参加者：松阪地区管内中学校野球部 14 校

県民・市民の皆様に野球場を知ってもらおうと共に、子どもの体力増進と健康意識を高め、スポーツの楽しさを体験してもらうことを目的とした第 1 回スポーツレクリエーションフェスティバル 2015 を開催した。

- ② 第 1 回スポーツレクリエーションフェスティバル 2015 in 松阪野球場
期 日：平成 27 年 11 月 22 日(日)
対 象：児童を対象
参加者：2,527 名

3 施設管理・リスク対策について

- (1) 中部台運動公園内に位置する当球場は、同公園を管理する松阪市との調整が不可欠であるため、常に連携を取り、場内を利用者する方々に良質な施設環境を提供するため、委託業務の業者点検への立ち会いを始めとして、設備の定期点検以外にも巡回目視による危険・不良箇所の点検を随時行った。
- (2) 設備の小修繕等については、地元のシルバー人材センターに登録している方々を活用し、雇用の促進と高齢者の活用を図った。
- (3) 昨今の天候急変による施設利用者の被害を未然に防止するため、特に夏季における雷注意報発令時については、利用団体への情報提供を速やかに行い、注意報発令時には施設内に退避を促すなど事故防止に努めた。また、気温低下による肉離れ等の事故・ケガ防止に努めるよう利用者へ注意喚起を行った。
- (4) 医務室を整備し、熱中症対策の一環としてエアコンを整備。また、応急処置用の常備薬・救急用品の点検・不足品は補充を行った。
- (5) 職員全員が普通救命講習を受講し、万が一の初期対応の訓練を行った。
- (6) 経年によるグラウンド整備器具等の更新・補充を行った。
- (7) テロ対策講習会に参加し、不審物等の対応方法を学んだ。

4 施設整備

- ・鉄製の柵の修繕
- ・不陸修正工事(6月及び2月)の実施
- ・芝補植工事の実施
- ・外野芝生の補修
- ・医務室エアコン設備の設置
- ・スコアボード保守点検
- ・放送設備保守点検
- ・本部室正面ドア(閉塞器)の修繕
- ・浄化槽蓋の修繕

5 その他

地元の中学生在が、学校教育の一環として授業で野球場を利用した。

6 利用者数及び利用料収入

年度	利用者数		前年度比較	利用料収入	前年度比較
H26年度	野球場	29,692名	—	1,341,030円	—
	合計	29,692名	—	1,341,030円	—
H27年度	野球場	30,211名	519名	1,261,080円	△79,950円
	合計	30,211名	519名	1,261,080円	△79,950円

○施設利用者数・使用料増減について

指定管理施設利用者数については、第1回スポーツリクリエーションフェスティバル2015 in 松阪野球場の実施と、1月3日に特別開場をした、本県出身者のプロ野球選手による野球教室を実施したことが利用者増加につながったと推察される。

施設使用料については、5月中旬から約2カ月間に渡り、県松阪野球場グラウンド芝維持業務及び本協会が整備した芝補植工事による一般開放を中止したことが減収になったと推察される。

平成27年度三重県営松阪野球場利用一覧

三重県営松阪野球場		
月	利用人数	利用料金
4月	3,150人	124,000円
5月	700人	57,460円
6月	0人	0円
7月	7,810人	347,200円
8月	2,022人	104,990円
9月	6,150人	273,100円
10月	2,000人	59,800円
11月	3,407人	48,390円
12月	570人	47,740円
1月	1,882人	43,400円
2月	1,140人	39,060円
3月	1,380人	115,940円
年合計	30,211人	1,261,080円

特記1:施設の利用者数には減免利用者を含む

平成27年度 スポーツマンハウス鈴鹿施設利用状況一覧表

	宿泊施設 (人)	温浴施設 (人)	会議室 件数	食事							
				レストラン(人)				弁当		宴会	
				朝食	昼食	夕食	計	件数	個数	件数	人数
4月	1,361	8,486	16	1,275	1,719	924	3,918	26	1,116	5	84
5月	1,305	8,044	12	913	2,060	687	3,660	31	1,030	2	52
6月	905	7,124	18	478	1,962	229	2,669	15	498	19	585
7月	2,120	8,040	23	1,231	1,950	939	4,120	34	1,826	9	193
8月	3,391	9,429	20	3,041	2,788	2,130	7,959	52	2,064	5	115
9月	1,749	8,267	22	1,082	2,237	789	4,108	16	606	3	49
10月	1,152	7,712	14	549	1,876	289	2,714	5	150	2	57
11月	1,273	8,300	13	1,026	1,680	407	3,113	18	685	7	249
12月	2,176	9,977	16	1,837	1,274	1,621	4,732	24	633	12	904
1月	915	10,074	12	866	1,764	590	3,220	9	345	2	42
2月	795	8,034	15	562	1,739	589	2,890	15	391	1	33
3月	2,261	9,332	21	1,998	1,912	1,464	5,374	45	1,205	4	186
計	19,403	102,819	202	14,858	22,961	10,658	48,477	290	10,549	71	2,549
平成26年度 計	16,735	101,579	178	12,981	23,172	10,377	46,530	251	8,920	52	1,930
平成26年度 比較	2,668	1,240	24	1,877	△ 211	281	1,947	39	1,629	19	619

◆2015年度 宿泊者分析

競技	4月	5月	6月	7月	8月	9月	上期	10月	11月	12月	1月	2月	3月	下期	総計
一般	318	475	284	966	1,150	896	4,089	689	745	351	289	146	395	2,615	6,704
水泳	528	90	348	398	973	0	2,337	0	81	1,205	184	260	846	2,576	4,913
サッカー	240	52	117	307	654	257	1,627	46	93	348	221	244	556	1,508	3,135
ソフトテニス	245	246	0	60	138	0	689	29	0	119	112	53	111	424	1,113
テニス	0	52	22	52	109	77	312	184	169	0	0	62	52	467	779
ラグビー	0	29	124	296	77	213	739	0	6	0	0	0	0	6	745
バスケットボール	0	151	0	30	173	91	445	0	92	0	0	0	0	92	537
野球	0	77	0	0	25	32	134	99	6	0	0	0	64	169	303
ハンドボール	0	0	0	0	0	0	0	7	0	97	0	0	124	228	228
フットサル	0	6	0	0	0	105	111	0	0	0	44	0	0	44	155
自転車	29	18	0	0	0	0	47	11	58	0	0	0	0	69	116
ソフトボール	0	54	0	0	0	0	54	52	0	0	0	0	0	52	106
飛込	1	22	10	2	0	0	35	0	0	27	0	10	27	64	99
その他スポーツ	0	0	0	0	0	30	30	0	23	16	0	20	0	59	89
バレーボール	0	21	0	0	32	0	53	0	0	0	11	0	15	26	79
空手	0	0	0	0	0	48	48	0	0	0	0	0	0	0	48
軟式野球	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	48	48	48
バドミントン	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	47	0	0	47	47
アメフト	0	0	0	0	40	0	40	0	0	0	0	0	0	0	40
卓球	0	0	0	0	0	0	0	35	0	0	0	0	0	35	35
水球	0	12	0	0	0	0	12	0	0	13	0	0	0	13	25
新体操	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	23	23	23
バトン	0	0	0	0	20	0	20	0	0	0	0	0	0	0	20
山岳	0	0	0	9	0	0	9	0	0	0	0	0	0	0	9
陸上	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	0	0	7	7
総計	1,361	1,305	905	2,120	3,391	1,749	10,831	1,152	1,273	2,176	915	795	2,261	8,572	19,403

分類	4月	5月	6月	7月	8月	9月	上期	10月	11月	12月	1月	2月	3月	下期	総計
個人	278	553	212	520	1,010	501	3,074	484	394	439	396	183	438	2,334	5,408
協会・連盟	308	308	349	445	586	153	2,149	181	34	968	218	159	107	1,667	3,816
クラブチーム	108	115	160	180	610	104	1,277	106	72	0	0	0	341	519	1,796
高校	233	187	56	76	623	141	1,316	0	15	13	18	0	350	396	1,712
大学	32	54	21	0	89	318	514	139	0	0	0	197	758	1,094	1,608
企業	139	0	78	455	69	427	1,168	162	52	25	0	0	0	239	1,407
少年団	0	12	0	22	21	32	87	0	0	416	76	175	155	822	909
中学	0	54	0	197	203	0	454	26	92	119	112	9	0	358	812
スクール	70	0	0	60	138	43	311	0	40	161	95	39	92	427	738
ツアー	0	0	29	145	0	0	174	0	282	35	0	33	20	370	544
サークル	114	22	0	20	42	0	198	11	171	0	0	0	0	182	380
労働組合	79	0	0	0	0	30	109	43	0	0	0	0	0	43	152
専門学校	0	0	0	0	0	0	0	0	82	0	0	0	0	82	82
福祉施設	0	0	0	0	0	0	0	0	28	0	0	0	0	28	28
老人会	0	0	0	0	0	0	0	0	11	0	0	0	0	11	11
総計	1,361	1,305	905	2,120	3,391	1,749	10,831	1,152	1,273	2,176	915	795	2,261	8,572	19,403

監 査 報 告 書

平成 28 年 5 月 23 日

公益財団法人三重県体育協会
会 長 竹 林 武 一 様

監事

立藤三千洋 

監事

井能 啓行 

私たち監事は、当協会の平成 27 年 4 月 1 日から平成 28 年 3 月 31 日までの平成 27 年度の理事の職務の執行について監査を行いましたので、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第 99 条第 1 項並びに公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律施行規則第 33 条第 2 項の規定に基づき本監査報告書を作成し、以下のとおり報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

私たち監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事等からその職務の執行について報告を受け、重要な決裁書類等を閲覧し、当協会の事務所において業務及び財産の状況を調査しました。

以上の方法によって、当該年度に係る事業報告及びその附属明細書を監査しました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該年度に係る計算書類及びその附属明細書並びに財産目録について監査しました。

2 監査の結果

(1) 事業報告等の監査結果

①事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、当協会の状況を正しく示しているものと認めます。

②理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 計算書類及びその附属明細書並びに財産目録の監査結果

計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は、当協会の財産及び損益の状況をすべて重要な点において適正に表示しているものと認めます。

以 上

独立監査人の監査報告書

平成 28 年 5 月 20 日

公益財団法人三重県体育協会

会長 竹林 武 一 殿

五十鈴監査法人

指定社員
業務執行社員 公認会計士

山 中 利 之 

<財務諸表監査>

当監査法人は、公益財団法人三重県体育協会の平成 27 年 4 月 1 日から平成 28 年 3 月 31 日までの平成 27 年度の貸借対照表及び損益計算書（公益認定等ガイドライン I-5(1)の定めによる「正味財産増減計算書」をいう。）並びにその附属明細書並びに財務諸表に対する注記について監査し、併せて、正味財産増減計算書内訳表（以下、これらの監査の対象書類を「財務諸表等」という。）について監査を行った。

財務諸表等に対する理事者の責任

理事者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠して財務諸表等を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない財務諸表等を作成し適正に表示するために理事者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した監査に基づいて、独立の立場から財務諸表等に対する意見を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、当監査法人に財務諸表等に重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得るために、監査計画を策定し、これに基づき監査を実施することを求めている。

監査においては、財務諸表等の金額及び開示について監査証拠を入手するための手続が実施される。監査手続は、当監査法人の判断により、不正又は誤謬による財務諸表等の重要な虚偽表示のリスクの評価に基づいて選択及び適用される。財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、当監査法人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、財務諸表等の作成と適正な表示に関連する内部統制を検討する。また、監査には、理事者が採用した会計方針及びその適用方法並びに理事者によって行われた見積りの評価も含め全体としての財務諸表等の表示を検討することが含まれる。

当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

監査意見

当監査法人は、上記の財務諸表等が、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠して、当該財務諸表等に係る期間の財産及び損益（正味財産増減）の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

<財産目録に対する意見>

当監査法人は、公益財団法人三重県体育協会の平成28年3月31日現在の平成27年度の財産目録（「貸借対照表科目」、「金額」及び「使用目的等」の欄に限る。以下同じ。）について監査を行った。

財産目録に対する理事者の責任

理事者の責任は、財産目録を、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠するとともに、公益認定関係書類と整合して作成することにある。

監査人の責任

当監査法人の責任は、財産目録が、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠しており、公益認定関係書類と整合して作成されているかについて意見を表明することにある。

財産目録に対する監査意見

当監査法人は、上記の財産目録が、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠しており、公益認定関係書類と整合して作成されているものと認める。

利害関係

公益財団法人三重県体育協会と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上